地方裁判所書記規則

02
773
01

M2376/14

目錄

第一節　通則
第一條　書記課組織
第二條　外部ノ整理
第三條　應接時間、受付室、受付函
第四條　職務總則
第五條　到來書類
第六條　記錄ノ調製、記錄號
第七條　書記事務番號
第八條　記錄帳簿
第九條　庶務記錄帳簿
第十條　書記ノ獨立ニテ爲スヘキ事務
第十一條　書類ノ差出
第十二條　事務取扱中ノ書類ノ整理
第十三條　命令ノ實行
第十四條　定期簿
第十五條　裁判順序表
第十六條　揭示簿
第十七條　送達
第十八條　執達吏トノ事務交通、執達委任簿

第二節　民事
第十九條　民事々件簿、民事被告人見出簿
第二十條　婚姻、養子緣組及禁治產事件簿
第二十一條　民事控訴事件簿
第二十二條　民事期日簿
第二十三條　民事抗告事件簿
第三節　破產事件
第二十四條　破產事件簿、破產記錄
第二十五條　債權表
第二十六條　執行力アル正本ノ附與
第二十七條　公告
第四節　刑事
第二十八條　內部事務ノ區域
第二十九條　送達、執行
第三十條　刑事期日簿、刑事控訴期日簿
第三十一條　抗告及上級裁判所タル刑事部ノ裁判
第五節　附則
第三十二條第三十三條　附則

地方裁判所書記規則

第一節　通則

書記課組織

第一條　地方裁判所書記課（裁判所構成法第八條）ハ之ヲ數部ニ分ツコトヲ得

裁判所書記ハ互ニ代理ヲ爲シ又事務繁多ナルトキハ相補助スヘシ

書記課ニ雇員ヲ置キタルトキハ淨書、謄寫及記錄編綴ニ從事セシメ其他書記ノ事務ヲ補助セシムルコトヲ得

外部ノ整理

第二條　裁判所ノ公廷及事務室ニハ其入口ニ番號及名稱ヲ揭示スヘシ

廣大ナル地方裁判所ニ於テハ前項ノ番號及名稱ヲ附シタル圖面ヲ裁判所內適宜ノ場所ニ揭示スヘシ

各事務室ニ不備置ノ仕器目錄ヲ揭クヘシ

書棚並ニ書類入ノ外ニハ現ニ取扱中ノ事務ニ屬スル記錄及書類ニ限リ之ヲ置クコトヲ得

書棚ニハ見出札ヲ附シ明ラカニ記錄及書類ノ區別ヲ示スヘシ

應接時間

第三條　書記ハ休暇日ヲ除ク外每日少クモ二時間應接時間ヲ存シ且之ヲ裁判所內適宜ノ場所ニ揭示スヘシ

受付室

受付函

書記ノ應接時間ハ地方裁判所長之ヲ定ム

職務總則

事務繁多ナル地方裁判所ニハ書類ノ受付其他應接ノ爲メ別ニ一室ヲ設クルコトヲ得

第四條　書記ハ調書、公判始末書、文書（判事ノ命ニ依リ起草スル文書）正本、抄本、謄本、認證書、判決確定證明書及執行文ヲ作リ記錄及書類ノ整頓、保存ヲ掌リ帳簿及表ヲ作リ其他事務取扱上必要ナル事務ニ服スヘシ

監督書記ハ主トシテ司法行政ニ係ル事務ヲ執リ且統計ニ係ル事務ヲ總括スヘシ

監督書記差支ノ場合ニ於テハ地方裁判所長ノ指定シタル書記其職務ヲ行フ

到來書類

第五條　裁判所ニ到來ノ封書ハ其宛名ニ從ヒ主務ノ部長若ハ書記之ヲ開披ス單ニ裁判所宛ノモノハ地方裁判所長之ヲ開披シ書記課宛ノモノハ監督書記之ヲ開披ス

書類ヲ受付クルトキハ書記其外面ノ見易キ所ニ年月日ヲ記入シ附屬ノ書類アルトキハ其數ヲ附記スヘシ

若シ書類受付ノ當日主務書記ノ手ニ達セサルトキハ主務書記ハ更ニ其受付ノ年月日ヲ記スヘシ

第六條　同一ノ民事刑事ノ事件ニ關スル書類ニ付記錄ヲ作ル又同種ノ事件ニ關スル書類ハ類聚記錄又ハ廳務記錄ト爲スコトヲ得

記錄ノ調製

各記錄ニハ記錄號ヲ附ス記錄號ハ各事件簿ノ符號文字（通常訴訟ナレハ(ワ)證書訴訟ナレハ(カ)ト稱スルノ類ノ如シ）及進行番號ニ事務年度ノ年數ヲ加ヘ之ヲ作ル（例ヘハ通常訴訟ニシテ二十三年第一號ナレハ「二三(ワ)一」ト記シ證書訴訟ニシテ二十三年第二號ナレハ「二三(カ)二」ト記スルノ類ノ如シ）

廳務記錄ノ記錄號ハ廳務記錄帳簿ノ節ノ數字及其番號ヲ以テ之ヲ作ル（例ヘハ第壹節ノ一ノ第一號ナレハ「壹ノ一」ト記スルノ類ノ如シ）

記錄號

檢事局ノ書記課ニ於テ記錄ヲ作リタル事件ハ地方裁判所ハ其記錄號トシテ檢事局ノ記錄號ヲ用ユ

記錄ハ每葉丁數ヲ附ス其表紙ハ厚紙ヲ用ユヘシ控訴院長ハ事件ノ種類ニ依リ定式ノ表紙ヲ用ユヘキ旨ヲ定メ且通常ノ紙ノ表紙ヲ用ユルコトヲ定ムルヲ得

表紙ニハ裁判所及事件ノ名、民事ノ原被告人又ハ刑事ノ被告人ノ氏名並ニ記錄號ヲ記シ勾留事件ハ勾留事件タルコト其他特別ニ至急ヲ要スル事件ハ至急事件タルコトヲ記スヘシ

記錄ヲ既濟トシテ藏置スルコトハ事件終局ノトキ裁判所ノ命令ニ從ヒ之ヲ爲ス

記錄ノ表紙ニハ既濟トシテ藏置スル年度及保存ノ終ル年ヲ記スヘシ

控訴審及抗告審ニ於テ成立チタル書類ハ第一審ノ記錄ト併合スヘキモノトス但一般又ハ特別ノ命令ニ依リ原本又ハ謄本ヲ以テ殘シ置クヘキ書類ハ裁判所書記之ヲ類聚記錄ト爲ス

裁判所裁判ノ原本ヲ殘シ置クヘキコトヲ命シタルトキハ第一審ノ記錄ニ附スヘキ謄本ニモ（民事訴訟法第四百三十一條）民事訴訟法第二百三十七條第三項、第五百十六條第二項、第五百二十四條、第五百六十條ニ從ヒ裁判ノ原本ニ揭ケヘキ記入ヲ爲スヘシ

類聚記錄ノ調製ニ關スル細則ハ地方裁判所長之ヲ定ム

第七條　書類ノ受授ヲ明カニスル爲書式第一號ニ從ヒ日記ヲ作ル此日記ニハ總テノ書類ヲ登記ス但送達證書ハ命令アリタルトキノミ之ヲ登記ス附屬書類ハ特別ノ必要アルトキ又ハ錯誤ヲ防クニ必要ナルトキノミ或ル書類ニ附屬スルモノナルコトヲ記ス（例ヘハ「一ニ」ト記シ第一號書類ニ附屬ノ旨ヲ示スノ類ノ如シ）

記錄號ト日記ノ番號トヲ併記シ事務番號ト爲ス事務番號ハ各書類ノ第一丁ノ右ニ附ス事務番號ヲ作ルニハ其書類區裁判所ヨリ差出シタル記錄ニ屬スルモノト雖モ第二番ノ記錄號ヲ用ユ

日記ノ登記ハ到來ノ日之ヲ爲スコトヲ要ス書類到來ノ日主務書記ノ手ニ達セサルトキハ第二欄ニ兩日ヲ記スヘシ

記錄ノ初メニハ番號目錄紙ヲ附スヘシ目錄紙ニハ年度ヲ題記シ次ニ日記ノ番號ヲ順次ニ記スヘシ處分濟ノ書類ヲ記錄ニ綴込又ハ他ニ遞付スルトキハ目錄ノ番號ヲ抹消シ且書類ヲ他ニ遞付スル場合ニ於テハ遞付先ヲ記スヘシ

日記
第一號
事務番號

書類書記課ニ在ル間ハ其取扱手續ニ付證明ヲ要セス第八欄ハ書記課ヨリ他ニ遞付スルトキノミ之ヲ用ユ

記錄帳簿

第八條　記錄ハ帳簿（即チ事件簿）ニ登記シ且其登記ノ順序ニ從ヒ之ヲ保存ス

帳簿ハ一年一冊ト爲スヲ例トス然レ𪜈事務年度終リタル後前年度ノ分ト合綴スルハ便宜ニ任ス」

一年間帳簿ニ記載シタル結果ハ年末ニ至リ集合シテ事務一覽表ニ揭クヘシ新タニ調製スル帳簿ニ記錄ヲ移記スルコトハ（此場合ニハ從來ノ記錄號ヲ附スヘシ）第三年ノ初メニ於テ尙ホ未濟ナルトキニ限リ之ヲ爲ス前年ノ帳簿ニ月日ヲ記入スルトキハ其記入ノ年ヲ附記スヘシ

庶務記錄帳簿第二號

第九條　庶務記錄ノ帳簿ハ書式第二號ニ從ヒ之ヲ作ル

庶務記錄帳簿ハ事件ノ種類ニ從ヒ數節ニ分チ之ヲ記ス

庶務記錄トハ司法ノ行政及監督事務ニ屬スル記錄其他特別ノ規程ニ係ル帳簿ニ載スヘカラサル一切ノ記錄ヲ謂フ

書記ノ獨立ニテ爲スヘキ事務

第十條　書記ノ獨立ニテ終局シ得ヘキ申立ハ假令裁判所宛ナルモ書記之ヲ終局ス其申立不當ナルトキハ之ヲ却下シ文書ニテ申立ヲ爲シタルトキハ其旨ヲ文書ノ餘白ニ記入シテ却下スヘシ

書記ヨリ他ノ官廳ニ爲スヘキ通知又ハ囑託ハ原本（一定ノ用紙ヲ用ユ）ヲ以テスルヲ例トス此場合ニ於テ

ハ其文意ヲ關係書類ニ附記シ關係書類ナキモノハ帳簿ニ登記スヘシ但原案ノ殘證ヲ要スルモノハ其事件ノ記錄ニ附ス

調書、呼出狀、召喚狀、勾引狀、勾留狀、送達狀、公判始末書、關席裁判告知書、正本、抄本、謄本、證明書及證認書ハ官及氏名ヲ記シ捺印スヘシ

書類ノ差出

第十一條　書記ノ獨立ニテ終局スヘカラサル到來書類ハ記錄ヲ添附シ判事ニ差出シ命令ヲ待ツヘシ送達證書ハ命令アルトキ又ハ書記其職務上ノ調査ニ依リ正式ノ送達ナカリシコトヲ見出シタルトキノミ之ヲ差出スヘシ

事務取扱中ノ書類ノ整理

第十二條　事務取扱中ノ書類ハ事務取扱上經過ノ程度ニ從ヒ之ヲ區別ス例ヘハ

一　事務番號ヲ附スヘキ書類（新事件）

二　判事決定又ハ命令ヲナス爲ニ差出スヘキ書類

三　寫字生、執達吏等ニ交付スヘキ書類

四　既濟ノ書類

事務取扱中ノ書類ニハ之ニ屬スル記錄又ハ關係書類ヲ添附ス特別ノ原因殊ニ記錄及其附屬書類ノ大部ナル爲ニ分離ヲ要スルトキハ合併スルヲ得ルニ至ルマテ各別ニ之ヲ保存ス

命令ノ實行

記錄ノ終局遞付ハ記錄帳簿ニ證記シ書類ノ終局遞付ハ番號目錄ニ證記スヘシ

第十三條　判事ヨリ起草ヲ命セラレタル文書ハ解シ易キ官用ノ文章ヲ以テ之ヲ記シ其文書ニハ事件ノ標目及事務番號ヲ附記シ且欄外ニ取扱ノ種類（例ヘハ郵便ニ付スル送達、郵便ニ依ル送達、書留郵便、執達吏ニ依ル送達、無手數料送達、送付等）ヲ記シ之ニ從ヒ淨書及謄本ヲ作ル此場合ニ於テ執達吏ハ其受取ルヘキ書類ニ依リ何人ノ委任ニ依リ何人ニ送達スヘキカ又如何ナル手續ニ依リ送達スヘキカ又至急ヲ要スルヤ否ヤヲ知ルヘキモノトス

右ニ付書記ハ書類ニ必要ナル附記ヲ爲スヘシ送達及交付ノ種類ハ署語ヲ以テ記スルコトヲ得

官廳ヘノ回答書ニハ其官廳ノ事務番號ヲ記スヘシ

書式ヲ用ユヘキトキ之ヲ命令ニ揭ケサルトキハ書記其記式ヲ記スルコトヲ要ス（例ヘハ書式「二五ニ」ト記シ書式第二十五號ニ從フヘキコトヲ示スノ類ノ如シ）

書記判事ノ命令ニ依リ作ルヘキ文書ハ調查ノ爲判事ニ差出スヘシ

記錄遞付ノトキ判事ノ特ニ命令アルトキニ限リ其謄本ヲ殘シ置クヘシ

書記ハ判事若ハ書記ノ署名シ又ハ認證スヘキ淨書ヲ原本ト校合シ且判事ノ署名スヘキモノハ之ニ檢印シテ誤謬ナキコトヲ證スヘシ

第十四條　書記ハ職務上注意スヘキ期日（民事ノ口頭辯論、刑事ノ公判ノ爲ノ期日ヲ除ク）及期間

ノ爲書式第三號ニ從ヒ定期簿ヲ作ル進行番號ハ登記ヲ爲ス日毎ニ數字ノ一ヲ以テ始ム
記錄ハ判事ヨリ他ノ命令ナキトキハ期日ヨリ二十四時間前ニ差出スヘシ記錄ヲ判事ニ差出シタ
ルトキハ進行番號ヲ抹消シ之ヲ表示スヘシ
期日ニ作リタル調書ハ定式ノ手續ヲ履踐シタル後書記、記錄號ヲ附シ直チニ定期簿ニ記スヘシ

裁判順序表

第十五條　裁判期日ニハ當日開廷スヘキ事件ノ順序表ヲ作リ裁判所内適宜ノ場所ニ揭示スヘシ
順序表ニハ毎日進行番號、記錄號、民事ノ原被告人又ハ刑事ノ被告人ノ氏名及期日ノ時刻ヲ記ス
ヘシ

揭示簿

第十六條　揭示ニ付テハ左ノ欄ヲ設ケタル揭示簿ヲ作ル

一　毎年進行番號
二　書類ノ名
三　事務番號
四　貼附ノ日、期間滿了ノ日、除去ノ日
五　備考

揭示書類ニハ貼附、除去ノ際「裁判所揭示板ニ貼附ス」「裁判所揭示板ヨリ除去ス」トノ旨ヲ記シ其
他揭示ノ場所、年月日、官氏名ヲ記シ捺印スヘシ

送達

第十七條　書記ハ遲滯ノ恐レアルトキ又ハ費用ヲ節減シ得ヘキトキハ郵便ニ依リ送達ヲ爲サシム
ヘキモノトス（民事訴訟法第百三十六條第三項第四項、刑事訴訟法第十九條）但特ニ執達吏ノ送
達ヲ要スヘシト思料スルモノハ此限ニ在ラス
送達證書ヲ要セサル送達（法律ノ規程ニ拘ハラサル送達）ハ郵便ヲ以テ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ廷丁ヲシ
テ郵送シタルコトヲ證セシムヘシ
公示送達ハ前條ノ手續ニ從ヒ且之ヲ證スヘシ

執達吏ト事務交通

第十八條　書記ト執達吏トノ委任授受ハ可成口頭ニテ之ヲ爲スヘシ
直チニ執行スヘキ委任ハ執達吏ニ送付ス其他ノ委任ハ閉鎖スヘキ書函ニ書類ヲ差入ルヽヲ以テ
之ヲ爲ス書函ノ鍵ハ書記、執達吏各一箇ヲ持ツモノトス

執達委任簿

第四號

書函ハ委任ニ關スル書類ヲ差入ルヽ爲書記課中ニ之ヲ設ク
書記ハ委任ニ關スル書類ヲ書函ニ差入ルヽトキ相當ノ區別ヲ爲シ置クヘシ（例ヘハ送達、送付、
執行、費用徵收事件、特別ノ官ノ委任ノ類ノ如シ）
執達吏ハ定リタル時間ニ書記課ニ出頭シ且求アリタルトキハ委任ノ取扱ニ付細報ヲ爲シ新委任
ニ付遺漏不完全ノコトアルトキハ質問ヲ爲スヘシ
書記ト執達吏トノ委任授受ニ付テハ書面ヲ以テ證スルヲ要セス若シ之ヲ必要トスルトキハ書式

第四號ニ從ヒ執達委任簿ヲ作ルヘシ

委任授受ニ委任簿ヲ用ユルトキハ委任書類ニ其帳簿ヲ添ヘ書函ニ差入ルヘシ

第二節　民事

第十九條　民事事件ノ帳簿ハ書式第五號ニ從ヒ之ヲ作ル（婚姻、養子緣組及禁治産ノ事件ヲ除ク）」

第一欄ニハ訴ヲ提起シタル月日ヲ記ス

第二欄ニハ權利拘束ト爲リタル月日（民事訴訟法第百九十五條）ヲ記シ督促手續ヲ經タルモノナルトキハ支拂命令若ハ訴狀ヲ送達シタル月日（民事訴訟法第三百八十七條、第三百九十一條、第百九十五條）ヲ記ス

第六欄ニ記スヘキ進行番號ハ各小欄ニ付數字ノ一ヲ以テ始ム其進行番號ハ記錄號ヲ作ル爲メニ用ユ（例ヘハ二十三年ニ於テ通常訴訟十一件裁判所ニ繫屬シタルトキハ新タニ繫屬スル通常訴訟ハ「二三(ヲ)一一」ト記スルノ類ノ如シ）

民事訴訟ニ付テハ五ケ年ヲ包括スルイロハ分ノ民事被告人見出簿ヲ作ル見出簿ニハ別ニ二欄ヲ設ケ原告人ノ氏名及記錄號ヲ記スヘシ

判決確定ノ證明書（民事訴訟法第四百九十九條）及執行力アル正本ヲ求ムルノ申立（民事訴訟法第五百十六條）並ニ地方裁判所ノ管轄ニ屬スル總テノ强制執行ニ關スル申立ハ訴訟記錄ニ附ス」

民事事件簿

第五號

民事被告人見出簿

一訴訟トシテ提起シタル數箇ノ請求又ハ被告ノ反訴ヲ分離シテ各別ノ訴訟ト爲シタルトキハ（民事訴訟法第百十八條）一ハ舊番號ニ依リ他ハ新番號ヲ附ス

左ノ事件ニハ各新番號ヲ附ス

一證書訴訟ニ於テ被告ニ留保シタル權利行使ニ付テノ訴訟手續（民事訴訟法第四百九十二條）

二假差押（民事訴訟法第七百四十條）假處分（民事訴訟法第七百五十六條）ノ申請

區裁判所ヨリ移送ヲ受ケタル民事訴訟ハ第六欄ノ番號ノ側ニ畫線シ且第八欄ニ其事由ヲ畧記スヘシ（民事訴訟法第九條第二項）

第二十條　婚姻、養子緣組及禁治産事件ノ帳簿ハ書式第六號ニ從ヒ之ヲ作ル

記錄號ヲ作ルニハ第一欄ノ進行番號ヲ用ユ

各訴訟ニ付第四欄ノ小欄ノ一ノミヲ用ユ婚姻及養子緣組事件ニ付種々ノ申立アル場合ニ於テ上欄ヲ用ヒタルトキハ下欄ヲ用ヒス（例ヘハ婚姻ノ無效及離婚ノ申立ヲ爲シタルトキハ第四欄ノ「ニ」ノミニ記入スルノ類ノ如シ）

第四欄ニ記スヘキ進行番號ハ各小欄ニ付數字ノ一ヲ以テ始ム若シ準禁治産事件ノ訴訟ナルトキハ其番號ノ側ニ畫線シ之ヲ表示スヘシ

第五欄ノ各小欄ニ付テハ手續ノ終局シタル裁判所ノ小欄ノミヲ記入ス此欄ノ記入ニハ訴訟事件

婚姻養子緣組及禁治産事件簿

第六號

ノ種類ヲ區別スル爲第四欄ノ小欄ノ文字ヲ用ユ

確定シタル判決ノ要旨ハ事務一覽表ヲ作ルニ必要ナルモノニ限リ第六欄ニ之ヲ記入ス

判決確定ノ證明書付與、假處分等ノ申立及其裁判ニ關スル書類ハ訴訟記錄ニ附ス

被告人見出簿ハ第十九條ノ規則ニ從ヒ之ヲ作ル

第二十一條　民事控訴事件ノ帳簿ハ書式第七號ニ從ヒ之ヲ作ル

第一欄乃至第五欄ハ期日ノ定マリタル後記入シ第六欄第七欄ハ控訴審終局ノ後記入ス數回ノ口頭辯論アリタルトキハ第六欄ニ最後ノ口頭辯論ノミ記入ス

判決確定ノ證明書（民事訴訟法第四百九十九條）及執行力アル正本ヲ求ムルノ申立（民事訴訟法第五百十六條）幷ニ控訴裁判所ノ管轄ニ屬スル强制執行ニ關スル申立（民事訴訟法第五百五條、第五百二十二條等）ハ訴訟記錄ニ附ス

區裁判所ニ記錄ノ返還（民事訴訟法第四百三十一條）ハ控訴完結ノ後之ヲ爲ス

第二十二條　第一審ノ口頭辯論期日ニ付テハ書式第八號ニ從ヒ民事期日簿ヲ作ル

期日簿ハ各部ニ付一冊ヲ作ル

期日簿ニハ期日ノ月日ヲ首ニ揭ク可シ

進行番號ハ每日數字ノ一ヲ以テ始ム第七欄ニハ一年度ヲ通シテ對審ノ數ヲ記ス但裁判ヲ待タス

拋棄、認諾ヲ以テ其期日ヲ終局シタルトキハ此欄ニ記セス

期日ノ指定アリタルトキハ書記ハ第一欄乃至第六欄ノ記入ヲ爲シ相手方ノ訴訟代理人ノ氏名ハ知リ得ルニ隨ヒ之ヲ追記ス

上訴ニ關シ終局判決ト看做スヘキ中間判決ハ之ヲ終局判決トシテ記ス（民事訴訟法第二百七條、第二百二十八條、第四百二十六條、第四百九十一條）

第八欄ノ「イ」乃至「ヘ」ノ小欄ニハ請求ノ全部若ハ一部又ハ攻擊防禦ノ方法ニ付口頭辯論ノ結果ニ屬スルモノヲ記ス故ニ同一事件ニ付數小欄ニ記スヘキコト少カラス

第八欄、第九欄ノ記入ヲ爲スニハ記錄號ニ用ヒタル符號文字ヲ用ユ裁判長此ノ記入ヲ爲サントキハ書記之ヲ爲ス

準備手續ヲ命スル決定ハ第八欄ノ「ヘ」即チ「其他ノ結果」ノ小欄ニ記ス但此記ノ側ニ書線シ之ヲ表示スヘシ

控訴審及抗告審ニ於ケル口頭辯論ニ付テハ別ニ期日簿ヲ作ル此期日簿ノ第二欄ハ二小欄ニ分チ一ハ第一審ノ記錄號他ノ一ニハ控訴ノ記錄號ヲ記ス第八欄、第九欄ニハ第一審ノ符號文字ヲ記ス控訴ヲ不適法トシテ棄却シタルトキハ第八欄「ロ」ノ小欄ニ書線シ之ヲ表示スヘシ

民事抗告事件簿

第九號

其他ハ前記ノ規則ニ從フ

第二十三條　民事抗告事件ノ帳簿ハ書式第九號ニ從ヒ之ヲ作ル

抗告事件簿ニハ單ニ區裁判所ノ裁判ニ對スル抗告ヲ記ス

記錄號ヲ作ルニハ第一欄ノ進行番號ヲ用ユ

第六欄ニ記スヘキ進行番號ハ各小欄ニ付數字ノ一ヲ以テ始ム第六欄「イ」ノ民事訴訟中ニハ區裁判所ノ執行事件簿ニ記シタル總テノ事件ヲモ包含ス

第七欄「イ」及「ロ」ノ記入ハ第六欄ノ小欄ノ文字ヲ記スルヲ以テ之ヲ爲ス文字「イ」ナルトキハ第一審ノ記錄號ニ用ヒタル符號文字ヲ附記ス故ニ不動產ノ競賣ニ付抗告裁判所ノ裁判アリタルトキハ第七欄「イ」ニ(イ)(ヌ)ノ二字ヲ記入ス抗告ヲ理由アリト言渡シタルトキハ文字ノ側ニ畫線シ之ヲ表示スヘシ

第三節　破產事件

破產事件簿

第十號

破產記錄

第二十四條　破產事件ノ帳簿ハ書式第十號ニ從ヒ之ヲ作ル

破產事件ニ付テハ記錄ヲ作ルヘシ

第七欄「ハ」ニハ決定ノ月日及破產手續ヲ停止(商法第九百八十二條)シタル法律ノ正條ヲ掲クヘシ

或ル債權者ノ申立ニ因リ破產手續ヲ再施(商法第九百八十二條第二項、第千四十四條)スルトキハ新番號ヲ以テ事件簿ニ記シ且其新舊記載ノ所備考ノ欄ニ再施ノ旨ヲ記シ新舊番號ヲ以テ相指示スヘシ

第五欄ニハ各個ノ記錄ノ名ヲ掲クヘシ

左ノ件ニ付テハ各別ニ記錄ヲ作ル

イ　手續開始

ロ　配當財團

ハ　負債財團

必要ナル場合ニハ尙ホ左ノ記錄ヲ作ル

ニ　配當

ホ　協諧契約ノ申立

「イ」ニ屬スルモノハ普通手續ニ關スル總テノ書類ナリ例ヘハ管財人ノ選定(商法第千八條)破產手續ノ停止(商法第九百八十二條)等ノ如シ

破產裁判所ハ其他尙ホ記錄ヲ作ルヘキカ又ハ如何ノ方法ニ依ルヘキカヲ定ム

商法第三編第一章ニ依リ左ノ書類ハ公衆ノ展閱ニ供スル爲メ裁判所ニ備フヘキモノトス

一　財産目錄及之ニ關スル調書ノ認證アル謄本（商法第千十四條）
二　報告書及貸借對照表ノ認證アル謄本（商法第千十六條）
三　債權表（商法第千二十四條）
四　協諧契約ノ申立書（商法第千三十八條）
五　配當案（商法第千四十六條）
六　支拂猶豫ノ申立及添附書類（商法第千六十條）
前項ノ書類ハ第五項ノ記錄ニ附ス但債權表ハ破產手續終局ノ後ニ非レハ記錄ニ附スルコトヲ得ス

債權表
第十一號

第二十五條　屆出テタル債權ニ付テハ書式第十一號ニ從ヒ甲乙二個ノ債權表ヲ作ル
甲債權表ハ三大部ニ分チ之ヲ作ルヘシ第一部ニハ動產及不動產ニ係ル一般ノ先取特權ヲ記シ第二部ニハ動產ニ係ル特別ノ先取特權ヲ記シ第三部ニハ不動產ニ係ル特別ノ先取特權ヲ記ス（民法債權擔保編第百三十七條、第百四十六條、第百六十五條）
甲債權表一欄ノ進行番號ハ各部ニ付數字ノ一ヲ以テ始メ各部ノ中間及末タ屆出ナキ部ニ付テハ相當ノ餘白ヲ存シ後日其先取特權ノ屆出アリタルトキ之ニ追記スヘシ
乙債權表ハ數字ノ一ヲ以テ始ムル進行番號ニ依リ屆出ノ順序ニ從ヒ通常ノ債權ヲ記ス

同一債權者ノ數多ノ債權ハ之ヲ列記シ各別ニ番號ヲ附ス一名ノ債權者數多ノ請求ヲ甲乙ノ債權ニ付又ハ甲ノ異ナル先取特權ニ付屆出タルトキハ其各債權ヲ相當ノ所ニ各別ニ掲クヘシ屆出タル債權ノ一部分ニ付先取特權ヲ申立タルトキモ亦同一ノ手續ヲ爲ス屆出ヲ補充シ又ハ改正シタルトキハ改正ノ欄ニ補充又ハ改正ノ記入ヲ爲ス先取特權又ハ優等ノ先取特權ノ申立ヲ後日ニ至リ之ヲ爲シ又ハ之ヲ取消シタルトキハ別ニ其請求ノ記入ヲ爲シ從前ノ記入ヲ抹消ス總テ前記ノ場合ニ於テ一方ノ記入ハ他方ノ記入ノ所備考ノ欄ニ之ヲ指示スヘシ

第二十六條　商法第千四十九條ノ場合ニ於テ執行力アル正本ノ付與ハ裁判所ノ判決ヲ以テ債權ヲ確定シタルトキノミ之ヲ付與ス（商法第千二十六條、第千四十九條、民事訴訟法第四百九十七條）

執行力アル正本ノ付與

執行力アル正本ヲ付與シタルトキハ書記債權表備考ノ欄ニ其申立人ノ氏名及付與ノ日時ヲ記入ス（民事訴訟法第五百二十四條）

公告

第二十七條　公告ハ（商法第九百八十一條、第九百八十二條、第千三十五條、第千三十八條、第千四十六條、第千四十八條、第千五十六條、第千六十條）裁判所ノ命令ニ從ヒ書記之ヲ爲ス
公告ハ裁判所ノ一般又ハ特別ノ命令ニ從ヒ他ノ數種ノ新聞紙ニ掲載スルヲ要セス又ハ數回掲載スルヲ要セサルトキ又新聞紙ニ掲載スル外他ノ方法（裁判所ノ掲示板等）ニ依ルヲ要セサルトキハ裁判所ノ公告ノ爲定メタル新聞紙ニ一回ノ掲載ヲ爲スヲ以テ之ヲ行ヒ破產手續ノ開始及再施

（商法第九百八十一條、第九百八十二條、第千四十四條）ニハ尚ホ官報ニ掲載ノ抜萃ヲ爲ス

此抜萃掲載ヲ除キ其他ノ抜萃掲載ハ裁判所ノ命令アルトキノミ之ヲ爲ス

第四節　刑事

内部事務ノ區域

第二十八條　記錄ノ調製及保存、刑事ニ於ケル記錄帳簿ノ取扱ハ以下ノ規則ニ從ヒ地方裁判所書記ノ主掌ニ屬セサルモノハ檢事局書記之ヲ爲ス

送達、執行

裁判所書記ハ記錄ノ差出ニ付檢事ノ命令ニ從フヘシ

記錄、裁判所ニ在ル間ハ其記錄及之ニ附スヘキ到來書類ノ取扱ハ裁判所書記ニ屬ス

第二十九條　裁判所ノ裁判ヲ實行スルニ付裁判所書記ノ事務ハ通則及左ノ規則ニ從フ

公判、豫審ニ於テ判事ノ命令ニ依リ爲スヘキ呼出及職權ヲ以テ爲スヘキ送達ハ書記獨立ニテ之ヲ爲ス

執行ニ付檢事ノ指揮ヲ要スル他ノ裁判ハ檢事局ニ交付ス

刑事期日簿

裁判長、豫審判事、受命判事ノ署名ヲ必要トスル書類ハ淨書ヲ添ヘ差出スヘシ

控訴審及抗告審ヨリ區裁判所ニ記錄ヲ返還スルコトハ檢事局ニ由リ之ヲ爲ス控訴審ニ於テ判決ヲ爲シタルトキハ裁判確定ノ後之ヲ爲ス

第三十條　公判期日ハ之ヲ定メタル後直ヲニ期日簿ニ登記ス期日ノ月日ハ首ニ掲クヘシ進行番號ハ毎日數字ノ一ヲ以テ始ム公判開廷ノ時間中ハ期日簿ヲ裁判所ニ差出シ置クヘキモノトス

刑事控訴期日簿

第十二號

刑事第一審ノ公判ニ付テハ書式第十二號ニ從ヒ刑事期日簿ヲ作ル

抗告及上級裁判所タル刑事部ノ裁判

第十三號

控訴審ノ公判ニ付テハ書式第十三號ニ從ヒ期日簿ヲ作ル第九欄ノ記入ニハ區裁判所ノ記錄號ニ用ヒタル符號文字ヲ用ユ第十欄ノ「ロ」ニハ第一審ノ判決ノ全部又ハ一部ヲ取消サントル所ノ判決ヲ記入スヘシ

期日簿ハ刑事部毎ニ之ヲ作ル

裁判長第八欄、第九欄、第十欄ノ記入ヲ爲サントレハ閉廷ノ後書記之ヲ爲スヘシ

第三十一條　刑事抗告事件ノ帳簿ハ書式第十四號ニ從ヒ之ヲ作ル

第二欄ハ區裁判所又ハ區裁判所判事ニ對シ抗告ヲ提起シタルトキノミ之ヲ記ス其他ノ場合ニ於テハ不服ヲ申立テラレタル裁判ヲ爲シタル者ノ何人ナルコトヲ備考ノ欄ニ記スヘシ

第八欄「イ」及「ロ」ニハ第一審ノ記錄號ニ用ヒタル符號文字ヲ用ユ抗告ヲ理由アリト言渡サレタルトキハ其符號文字ノ側ニ畫線シ之ヲ表示スヘシ

上級ノ裁判所トシテ裁判シタル刑事部ノ裁判及判事ノ忌避回避ニ付テノ裁判ハ原本又ハ謄本ヲ特別ノ類聚記錄ト爲ス

第五節　附則

附則　第三十二條　會計事務、登記事務及民事、刑事ノ統計表調製ニ付テハ現行ノ規則又ハ後來定ムル所ノ特別ノ規則ニ從フヘシ

同　第三十三條　從前ノ規則ニ從ヒ終局スヘキ事件ニ付テハ帳簿ノ記載其他書記ノ事務ニ付テノ現行規則ニ從フヘシ但本規則第二十八條及地方裁判所檢事局書記規則第十二條ニ揭ケタル記錄ノ調製、保存及記錄帳簿ノ取扱ニ關スル規程ハ之ヲ斟酌シテ適用スヘキモノトス若シ右ノ事務區域ニ付疑アルトキハ控訴院長及檢事長之ヲ協議規定スヘキモノトス

書式（用紙美濃紙）

（書式中各欄内假設記入文字及欄外附記文字幷ニ書式ノ末尾ニ記入方ヲ記シタルモノニシテ原本中朱ナルモノハ「」及……點ヲ附ス）

書式目錄

番號	規則ノ條箇	名稱	符號文字	
一	七	日記		
二	九	庶務記錄帳簿		
三	一四	定期簿		
四	一八	執達委任簿		
五	一九	民事事件簿	ソ、カ、ヨ	
六	二〇	婚姻養子緣組及禁治産事件簿	タ	
七	二一	民事控訴事件簿	レ	
八	二三	民事期日簿		

九	二三	民事抗告事件簿	ワ
一〇	二四	破產事件簿	ツ
一一	二五	債權表	
一二	三〇	刑事期日簿	
一三	三〇	刑事控訴期日簿	
一四	三一	刑事抗告事件簿	ぬ

第一號（規則第七條）

明治何年何月

自何號
至何號

（日記ノ進行番號ヲ記ス）

日記

某地方裁判所
某部

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
每日進行番號	書類到來ノ月日	記錄號	差出人ノ氏名	書面ノ大要	判事ノ氏	裁判ノ月日	記錄遞付先	記錄編入月日	備考
一	一ノ四	二三(ソ)一	何某	貸金	某	二三ノ一〇	其後ノ處分ノ爲メ		
二	同	二三(ロ)二	何某	耕地取戻	某	一ノ一〇	某區裁判所へ	二三ノ一五	
三	同	二三(カ)二	何某	預金取戻	某	一ノ一二		二ノ一四	

［一此日記ハ每部一ケ月每ニ一冊ヲ作ル事務僅少ナル部ニ於テハ一帳簿中ヲ區別シテ之ヲ記スルコトヲ得

一第一欄ハ一年ニ取扱フ事件ノ數ヲ見ルモノニシテ取扱事件ノ順序ニ從ヒ數ヲ逐テ記入スルモノトス以下每年進行番號ノ欄皆同シ

一第三欄記錄號トハ規則第六條ニ規定スルモノヲ謂フ以下記錄號ノ欄皆同シ

一第二欄第七欄第八欄第九欄ノ月日ヲ記入スルニ年ヲ跨ルトキハ年ノ數ヲ傍記ス（例ヘハ明治二十三年一月五日ナレハ「二三ノ一」ト記スルノ類ノ如シ）以下月日ヲ記入スルノ欄皆同シ第八欄ニハ他ニ記錄ヲ遞付シタルトキ其遞付先ト月日トヲ記入ス］

第二號（規則第九條）

明治何年

庶務記錄帳簿

某地方裁判所

某部

［壹ノイ］　［法律命令ノ類聚］

番號	一	二						
年度	二	明治七	〃					
記錄ノ名稱	三	司法省訓令類聚	〃					
冊數	四	一	〃					
既濟年度	五							
保存ノ終ル年	六	永久						
備考	七							

［貳ノロ］　［他官廳ト事務交通ニ關スルノ類聚］

番號	一	二						
年度	二	明治二〇	〃					
記錄ノ名稱	三	警察署往復綴	〃					
冊數	四	一	〃					
既濟年度	五							
保存ノ終ル年	六							
備考	七							

[参ノイ]　[判事及試補]

番号	記録ノ名称	冊数	既済年度	保存ノ終ル年	備考
一	判事某	何冊	明治二〇	二三	休職
二		何冊記録		二九	
三		四		六	
四		五		七	

[一]庶務記録帳簿ハ數節ニ分チ之ヲ登記ス例ヘハ

第壹節　法律命令及説明

壹ノイ　法律命令ノ類聚

壹ノロ　民事訴訟ニ關スルモノ

壹ノハ　刑事訴訟ニ關スルモノ

壹ノニ　登記ニ關スルモノ

壹ノホ　後見ニ關スルモノ

壹ノヘ　供託ニ關スルモノ

壹ノト　訴訟費用及印紙ニ關スルモノ

壹ノチ　雜

第貳節　裁判所構成及組織

貳ノイ　裁判所ノ構成組織ニ關スルモノ

貳ノロ　他官廳トノ事務交通ニ關スルモノ

貳ノハ　管内區裁判所ノ監督ニ關スルモノ

貳ノニ　書記以下裁判所職員ニ關スルモノ

貳ノホ　執達吏ニ關スルモノ

貳ノヘ　廳内事務室ニ關スルモノ

貳ノト　圖書及什器ニ關スルモノ

貳ノチ　雜

第參節　身分

參ノイ　判事及試補

參ノロ　書記及雇

参ノハ　廷丁及小使
参ノニ　執達吏
参ノホ　雑
第肆節　統計表諸報告
肆ノイ　民事統計
肆ノロ　刑事統計
肆ノハ　事務一覧表
肆ノニ　雑

「第二欄ニハ記錄ノ年度ヲ記ス
一第五欄ノ既濟年度トハ記錄ノ不用トナリタル年度ヲ謂フ
一第六欄保存ノ終ル年トハ記錄ノ既濟トナリタル後其保存スヘキ年度ヲ謂フ以下保存ノ終ル年ノ欄皆同シ」

第三號（規則第十四條）

明治何年

定期簿

某地方裁判所
某部

［何月何日］

期間															
日	毎日進行番號	記錄號	日記ノ番號	事件ノ目標	期日ノ時刻	期日ニ付テノ主任判事ノ氏	終局ヲ證スル日記ノ番號及備考	毎日進行番號	記錄號	命令 命令ヲ記シタル日ノ番號	命令 裁判ヲ下シタル者	事件ノ目標	終局書類又ハ取扱書類ノ番號	備考
	一	二	三	四	五	六	七	八	九	イ	ロ	十一	十二	十三
	一	二	二〇	建家競賣	午後一	某	二五	二	二三(ワ)二	三	某	某ヨリ某ニ對ス	一五	
	二三(ツ)一	二三(ツ)二	一〇	地所競賣	午前九	某	二〇	一	二三(ワ)一	二	某	某ヨリ某ニ對ス	一〇	

［一此定期簿ハ部毎ニ若ハ各部ノ書記毎ニ一冊ヲ作ル

一此定期簿ハ民事ノ口頭辯論刑事ノ公判ヲ除ク外一切ノ期日期間ヲ記ス

一第一欄第八欄ノ毎日進行番號ハ一日ニ取扱フ事件ノ數ヲ見ルモノニシテ取扱事件ノ順序ニ從ヒ期日期間毎ニ數ヲ起シ順次數ヲ逐テ記入ス以下毎日進行番號ノ欄皆同シ

一第三欄日記ノ番號ハ書式第一號日記ニ記入シタル書類ノ番號ニシテ判事期日ヲ定ムルノ命令ヲ記シタル書類ノ番號ヲ謂フ

一第七欄ニハ第三欄ノ書類ニ記スル命令ニ依リ成立チタル書類等ノ番號即チ日記（書式第一號）ニ記入スヘキ番號及備考ヲ記入ス若シ期日前事件結了シタルトキハ其事由ヲ記入シ期日ニ處分ヲ要セサルコトヲ表ス

一第十欄「イ」ニハ日記（書式第一號）ニ記入シタル書類（期間ヲ定ムル命令ヲ記シタル書類）ノ番號ヲ記入シ「ロ」ニハ裁判ヲ下シタル者ノ氏ヲ記入ス

一第十二欄ニハ第十欄ノ書類ニ記スル命令ニ依リ成立チタル書類ノ番號ヲ記入シ別ニ成立ツ書類ナキトキハ第十欄ノ書類ノ番號ヲ記入ス若シ期間前ニ事件結了シタルトキハ其事由ヲ第十三欄ニ記入シ期間ニ處分ヲ要セサルコトヲ表ス］

明治何年

執達委任簿

某地方裁判所

某部

第四號（規則第十八條）

每日進行番號	官ノ委任				當事者ノ委任			
	交付ノ月日	記錄號	當事者又ハ刑事被告人ノ氏名	返納月日	交付ノ月日	記錄號	當事者ノ氏名	返納月日
一	二三ノ四㊞	二三(ヶ)二〇八	甲ヨリ乙ニ對ス	二三ノ六	二三ノ四㊞	二三(ヶ)一	丙ヨリ丁ニ對ス	二三ノ五
二	一ノ四㊞	二(ヶ)三五二九	何某	一ノ五	一ノ四㊞	二(ヶ)三二	戊ヨリ己ニ對ス	一ノ六

〔一此委任簿ハ各部ニ於テ執達吏毎ニ一冊ヲ作ル
一第二欄第七欄ニハ書記月日ヲ記入シ執達吏領收ノ證トシテ之ヲ捺印ス
一第四欄ニハ民事訴訟及非訟事件ナレハ當事者ノ氏名ヲ記入シ刑事ナレハ被告人ノ氏名ヲ記入ス
一第五欄第十欄ニハ送達證書ノ正本ヲ書記課ニ返納シタルトキ又ハ交付證書ヲ書記課ニ差出シタルトキ書記其月日ヲ記入ス〕

第五號（規則第十九條）

明治何年

何郡 事務ノ種類ニ依リ分タルトキハ郡名ニ代フルニ種類ノ名稱ヲ以テス

民事事件簿

某地方裁判所

某部

ワ、カ、ヨ、

起訴ノ月日	權利拘束トナリタル月日	原被告人ノ氏名身分職業住所又ハ現在地	訴訟代理人ノ氏名	訴訟ノ目的物	訴訟事件ノ毎年進行番號	通常訴訟 ワ	證書訴訟及爲替訴訟 カ	假差押假處分 ヨ	記錄	既濟年度	保存ノ終ル年	備考
一	二	三	四	五	イ	六	ロ	ハ	イ	七	ロ	八
二三	二三	住所身分職業 原何某										
一ノ四	一ノ五	住所身分職業 被何某		貸金貳百圓	一				二三	二九		
一ノ四	一ノ五	住所身分職業 原何某 住所身分職業 被何某	原辯護士 何某	所有權追認	二				二三	二九		

〔一此事件簿ハ毎部一冊ヲ作ル以下事件簿皆同シ
一第一欄ニハ訴ヲ提起シタル月日ヲ記ス
一第二欄ニハ權利拘束ト爲リタル月日ヲ記ス（規則第十九條第三項）
一第六欄ニハ其小欄ノ區別ニ從ヒ各事件ノ進行番號ヲ記入ス
一第七欄「イ」ノ既濟年度トハ記錄ヲ既濟トシテ藏置スル年度ヲ謂フ以下既濟年度ノ欄皆同シ〕

明治何年

婚姻養子縁組及禁治産事件簿

夕

某地方裁判所

某部

第六號（規則第二十條）

每年進行番號		一	二
原被告人ノ氏名身分職業住所又ハ現在地		住所身分職業 原何某 住所身分職業 被何某	住所身分職業 原何某 住所身分職業 被何某
訴訟代理人ノ氏名		原代人 何某	原辯護士 何某
禁治産事件ノ訴訟	禁治産ノ決定ニ對スル不服ノ訴	一	
	禁治産解止ノ申立ヲ却下スル決定ニ對スル不服ノ訴		
婚姻事件ノ訴訟	不成立		
	無效		
	離婚		一
	同居		
養子縁組事件ノ訴訟	不成立		
	無效		
	離縁		
終局	第一審ニ於テ 判決ニ依ルモノ		ホ
	判決ナキモノ		
	控訴審ニ於テ		
	上告審ニ於テ		
確定シタル判決ノ	月日		二三 一ノ 七
	要旨		離婚 費用ヲ原被告ニ負擔セシム
記錄	既濟年度		二 三
	保存ノ終ル年		二 九
備考		控訴二三年一ノ一三 記錄遞付二三年一ノ一五、民事部一〇號	

「一第四欄ニハ小欄ノ區別ニ從ヒ各事件ノ毎年進行番號ヲ記入ス

同欄「ハ」ノ小欄ニハ婚姻不成立ノ訴「ニ」ノ小欄ニハ婚姻無效ノ訴「ホ」ノ小欄ニハ婚姻ノ訴「ヘ」ノ小欄ニハ夫婦同居ノ訴ヲ記入ス

婚姻事件ノ訴ニ養子縁組事件ノ訴ヲ併合シタルトキハ（廿三年法律第百二號第三條）一事件トシテ主タル欄ニ記入ス

一第五欄ニハ終局區別ヲ見ル爲其小欄ノ區別ニ從ヒ第四欄ノ小欄ノ文字ヲ記入ス

同欄「イ」ノ小欄ニハ總テ判決ヲ爲シタル事件ヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ總テ判決ナク終局シタル事件ヲ記入ス「ハ」ノ小欄ニハ控訴審ニ於テ終局シタルモノヲ記入シ「ニ」ノ小欄ニハ上告審ニ於テ終局シタルモノヲ記入ス

一第六欄ニハ裁判確定シタルモノニ限リ記入ス若シ控訴上告ニ因リ前判決ヲ廢棄若クハ破毀シ又ハ控訴上告ヲ棄却シタルトキハ其旨ヲ備考ノ欄ニ記入ス

同欄中「イ」ノ小欄ニハ確定シタル判決ノ月日ヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ判決ノ要旨ヲ記入ス

一第一審判決ニ對シ控訴ヲ爲スモノアルトキハ其年月日及書類遞付ノ年月日等ヲ備考ノ欄ニ記入ス」

明治何年

民事控訴事件簿

某地方裁判所

某部

レ

每年進行番號	區裁判所	名	記錄號	原被告人ノ氏名身分職業住所又ハ現在地	訴訟代理人ノ氏名	訴訟ノ目的物	口頭辯論ノ月日	記錄ノ遞付	先	月日	備考
一	イ	二	ロ	三	四	五	六	イ	七	ロ	八
一		某	二三 (ロ) 一三	住所身分職業 原何某 住所身分職業 被何某	原辯護士 何某	貸金 貳百圓	二三 二ノ 一〇		某區裁判所ヘ	三三 二ノ 二〇	
二		某	二三 (カ) 一五	住所身分職業 原何某 住所身分職業 被何某		預金 五百圓	二ノ 一五		某區ヘ	二ノ 二五	

〔一第七欄ニハ記錄ヲ原裁判所ヘ返還シタルトキ其遞付先及月日ヲ記入ス〕

第八號（規則第二十二條）

明治何年

民事期日簿

某地方裁判所

某部

［何月何日］

欄	項目	一	二		
一	毎日進行番號	一	二		
二	記錄號	(ワ)二三一	(カ)二三一		
三	原被告ノ氏名	原何某 被何某	原何某 被何某		
四	期日ノ時刻	午前九	午後一		
五	訴訟代理人ノ氏名	原何某	原何某 被何某		
六	訴訟ノ目的物	貸金 參百圓	預金 千圓		
七	對審ノ毎年進行番號	一			
八 イ	口頭辯論ノ結果　闕席判決又ハ拋棄認諾ニ基ク判決		カ		
ロ	其他ノ終局判決	ワ			
ハ	中間判決				
ニ	和解				
ホ	證據決定				
ヘ	其他ノ結果				
九	口頭辯論ナキ期日ノ終局				
十	判決ノ原本ヲ領收シタル月日	三一ノ一〇	一ノ三		
十一	備考				

［何月何日］

一第七欄ニハ對審ヲ爲シタル事件ニ限リ之ニ記入ス闕席判決、期日延期、和解ノ類ニテ對審ヲ爲サヾルモノハ記入セス

一第八欄ニハ各事件ノ口頭辯論ノ結果ヲ見ル爲ニ小欄ノ區別ニ從ヒ其事件ノ符號文字ヲ記入ス

右八欄中「イ」ノ小欄ニハ闕席判決（民事訴訟法第二百四十六條以下）拋棄認諾ニ基ク判決（民事訴訟法第二百二十九條）ヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ「イ」ノ小欄ニ記入セサル總テノ終局判決ヲ記入シ（民事訴訟法第二百二十五條、第二百二十六條、第二百七條、第二百二十八條、第四百九十一條）「ハ」ノ小欄ニハ中間判決ヲ記入シ（民事訴訟法第二百二十七條）「ニ」ノ小欄ニハ和解ヲ記入シ（民事訴訟法第二百二十一條）「ホ」ノ小欄ニハ證據決定ヲ記入シ（民事訴訟法第二百七十四條）「ヘ」ノ小欄ニハ上段ノ各小欄ニ記入セサル結果ヲ記入ス即チ訴ノ取下ノ類是ナリ（民事訴訟法第百九十八條）

一第九欄ニハ辯論ヲ延期シタルモノヽ如キヲ記入ス（民事訴訟法第百六十九條）

一第十欄ニハ書記ニ於テ判決ノ原本ヲ領收シタル月日ヲ記入ス（民事訴訟法第二百三十七條）」

明治何年

民事抗告事件簿

某地方裁判所
某部

第九號（規則第二十三條）

每年進行番號		一	二		
區裁判所	名	某	某		
	記錄號	二三(ヌ)一二	二三(ハ)一五		
	裁判ノ月日	二三一〇ノ七	二〇ノ七		
事件ノ標目		何某ヨリ何某ニ	何某ヨリ何某ニ		
抗告人		何某	何某		
申立ノ要旨		不動産競賣	費用額確定ノ決定廢棄		
每年進行番號	民事訴訟	一	二		
	破産事件				
	家資分散事件				
	禁治産事件				
	其他ノ事件				
終局	裁判ニ依ルモノ	イ(ヌ)	イ(ハ)		
	裁判ナキモノ				
	終局ノ月日	二三一〇ノ一〇	一〇ノ二〇		
	類聚記錄ノ指示	二〇	三〇		
記錄遞付ノ月日		二三一〇ノ二五	一〇ノ二〇		
備考					

〔一第六欄ニハ其小欄ノ區別ニ從ヒ各事件ノ每年進行番號ヲ記入ス
同欄「ハ」ノ小欄ニハ家資分散者タルノ決定ニ對シ抗告シタルモノヲ記入ス
同欄「ホ」ノ小欄ニハ登記法又ハ公證人規則ニ付テノ抗告等ヲ記入ス
一第七欄「ニ」ノ小欄ニハ類聚記錄ノ丁數ヲ記入ス〕

明治何年

破産事件簿

ツ

某地方裁判所

某部

每年進行番號	月日	債務者ノ氏名	管財人ノ氏名	各記錄ノ名	百分ノ比例	終局月日	記錄	備考
一	破産宣告ノ申立				終局計算ニ依リ配當	終局配當	既濟年度	
	破産決定 申立ニ因ルモノ				協諧契約ニ依リ辨償	協諧契約	保存ノ終ル年	
	破産決定 職權ニ依ルモノ					其他ノ方法ニヨリ		
二	二二 九ノ一〇	二二 九ノ二〇			百分ノ二〇	二二 一〇ノ二五	二 二	二 九
一	二二 九ノ三〇			手續開示 配當財團 負債財團			二二 一〇ノ三〇	
二	九ノ二〇				百分ノ二五			
一	二二 九ノ一〇	二二 九ノ二〇			百分ノ二〇	二二 一〇ノ二五	二 二	二 九
二	九ノ二〇			手續開示 配當財團 負債財團			二二 一〇ノ三〇	

〔一第一欄ニハ破産事件ノ每年進行番號ヲ記入ス

一第二欄ニハ其小欄ノ區別ニ從ヒ破産宣告申立ノ月日及破産決定ノ月日ヲ記入ス

一第五欄ニハ規則第二十四條ニ依リ作リタル各記錄ノ名ヲ記入ス

一第六欄ニハ債權額ニ對スル償還額ノ歩合ヲ記入ス

一第七欄ニハ其小欄ノ區別ニ從ヒ終局ノ月日ヲ記入ス

同欄「ハ」ノ小欄ニハ破産手續ヲ停止シタルトキ其法條(商法第九百八十二條)及年月日ヲ記入ス〕

甲

債權表

某地方裁判所某部

第十一號（規則第廿五條）

五十二

進行番號	債權者ノ身分氏名住所	債權者代人ノ氏名委任ノ指示	届出ノ年月日	届出ノ高 圓 厘	債權ノ原因及證據書類	調査ノ結果	改正	備考	債權	一 住所身分職業 何某	二 住所身分職業 何某			
一	二	三	四	五	六	七	八	九		一	二			
		何某 三〇二	二二ノ一〇	五〇〇〇	訟事費用	管財人承認 確定額 五〇、〇〇〇 年月日 ㊞			表					
			二〇ノ一〇	三〇〇〇	訟事費用	判決、確定、年月日 ㊞								

[第貳部] [動産ニ係ル特別ノ先取特權]

債權表									
進行番號	債權者ノ氏名身分職業住所	債權者代人ノ氏名委任狀ノ指示	届出ノ月日	届出ノ高 圓	届出ノ高 厘	債權ノ原因及證據書類	調査ノ結果	改正	備考
一	二	三	四	イ五	ロ	六	七	八	九
一	住所身分職業 何某	何某 二五一	二二一ノ一〇ノ一	五〇	〇〇〇	葬式費用	管財人承認 確定額 五〇、〇〇〇 年月日 ㊞		
二	住所身分職業 何某		一ノ一〇ノ五			、、、、、	判決、確定、 年月日 ㊞		

[第參部] [不動産ニ係ル特別ノ先取特權]

債權表									
進行番號	債權者ノ氏名身分職業住所	債權者代人ノ氏名委任狀ノ指示	届出ノ月日	届出ノ高 圓	届出ノ高 厘	債權ノ原因及證據書類	調査ノ結果	改正	備考
一	二	三	四	イ五	ロ	六	七	八	九

〔一本表ハ一破産事件毎ニ之ヲ作ル

一本表ハ三大部ニ分チ第一部ニハ動産及不動産ニ係ル一般ノ先取特權ヲ記シ第二部ニハ動産ニ係ル先取特權ヲ記シ第三部ニハ不動産ニ係ル先取特權ヲ記ス

一第一欄ハ各部毎ニ數ヲ起シ進行番號ヲ記入ス

一第三欄委任狀ノ指示ハ記錄ノ冊數、丁數ヲ記スルヲ以テ之ヲ爲ス

一第四欄ニハ債權屆出ノ月日第五欄ニハ其屆出ノ高ヲ記入ス

一第七欄ニハ破産主任官商法第千二十五條ニ依リ調査シタル結果ト記入ノ年月日トヲ記シ捺印ス

一第八欄ニハ債權ノ屆出ヲ補充シ又ハ改正シタルトキ之ヲ記入ス」

乙

債權表

某地方裁判所

某部

[通常債權]

進行番號	債權者ノ氏名身分職業住所	債權者代人ノ氏名委任狀ノ指示	屆出ノ月日	屆出ノ高 圓	屆出ノ高 厘	債權ノ原因及證據書類	調査ノ結果	改正	備考
一	二	三	四	五	六	七	八	九	
一	住所身分職業 何某	何某 一五〇	二二 九ノ二五	五五〇	六六六	米賣渡代證書幷帳簿計算書	管財人承認六六六ノ請求ヲ退ク 確定額 五五〇、〇〇〇 年月日 ㊞		
二	住所身分職業 何某	何某 二三〇	九ノ二七	三〇八 年八	〇五五 利共	貸金證	判決、確定、年月日 ㊞		

[一本表ニハ通常ノ債權ヲ記ス其他甲債權表ノ記載例ニ同シ]

明治何年

刑事期日簿

某地方裁判所

某部

第十二號（規則第三十條）

［何月何日］　［何月何日］

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一
每日進行番號	記錄號	被告人ノ氏名	期日ノ時刻	一原告官氏名 二民事原告人氏名	一代人氏名 二辯護士氏名	罪名	公判ノ結果 判決	公判ノ結果 無判決	言渡ヲ受ケタルモノ 有罪	言渡ヲ受ケタルモノ 無罪	判決ノ原本ヲ領収シタル月日	備考
一	二三(ち)一	何某	午前九	一何某 二何某	一何某	竊盜	ち		一		二三一ノ五	新期日何月何日
二	二三(ち)二	何某	午前一二	一何某		詐欺取財	ち			一	一ノ五	
三	二三(と)三	何某	午後一	一何某	二何某	強盜	と					

［一第八欄ニハ公判開廷ノ結果ヲ見ル爲ニ小欄ノ區別ニ從ヒ各事件ノ符號文字ヲ記入ス
但「イ」ノ小欄ニハ總テ本案ノ判決ヲ爲シタルモノヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ期日ニ判決ナカリシモノヲ記入ス（例ヘハ公判ヲ延期シタルモノ、類ノ如シ）
一第九欄ニハ一ケ年間ニ言渡ヲ受ケタル者ノ數ヲ見ル爲ニ其進行員數ヲ記入ス但有罪無罪ハ各別ニ數ヲ起シ記入ス］

第十三號（規則第三十條）

明治何年

刑事控訴期日簿

某地方裁判所

某部

每日進行番號	第二審ノ記錄號	被告人ノ氏名	期日ノ時刻	區裁判所 名	區裁判所 記錄號	一原告官氏名 二民事原告人氏名	一代人氏名 二辯護士氏名	罪名	公判ノ結果 判決	公判ノ結果 無判決	判決ノ每年進行員數 第一審判決ノ取消	判決ノ每年進行員數 控訴ノ棄却	判決ノ原本ヲ領收シタル月日	備考
一	二	三	四	イ五	ロ	六	七	八	イ九	ロ	イ十	ロ	十一	十二
一	二三(は)一	何某	午前九	某	二三(へ)五	一何某 二何某	一何某	竊盜	は		一		二三一ノ五	
二	二三(は)二	何某	午後一	某	二三(へ)六	一何某	二何某	詐欺取財		は				新期日一ノ一〇

〔一第五欄ニハ區裁判所ノ名稱ト記錄號ヲ記入ス
一第九欄ニハ區裁判所ノ記錄號ニ用ヒタル符號文字ヲ記入ス
一第十欄「ロ」ノ小欄ニハ第一審判決ノ全部又ハ一部ヲ取消サヽル所ノ一切ノ判決ノ進行員數ヲ記入ス〕

明治何年

刑事抗告事件簿

某地方裁判所
某部

第十四號（規則第三十一條）

每年進行番號	一	二
區裁判所ノ名	某	某
第一審ノ記錄號	二三（は）一	二三（は）二
裁判ノ月日	四一五	
事件ノ標目	何某ニ對ス	何某ニ對ス
抗告人氏名	何某	何某
申立ノ要旨	不參罰金ノ言渡ニ對スル抗告	同上
終局 裁判ニ依ルモノナキモノ	は	は
終局 裁判ノ日	二三ノ二	一ノ二
終局 裁判類聚記錄ノ指示	何丁	何丁
記錄遞付ノ月日	二三ノ一五	一ノ一八
備考		

［一第二欄ニハ區裁判所ノ裁判ニ對シ抗告ヲ爲シタルトキノミ之ヲ記入ス其他ノ場合ニ於テハ攻擊ヲ受ケタル裁判ヲ爲シタル者ノ何人ナルコトヲ備考ノ欄ニ記入ス

一第八欄ノ「イ」及「ロ」ノ小欄ニハ第一審ノ記錄號ニ用ヒタル符號文字ヲ記入ス抗告ヲ理由アリト言渡サレタルトキハ其符號文字ノ側ニ畫線シ之ヲ表示ス］

地方裁判所檢事局書記規則

目錄

第一節　通則

第一條　書記課組織

第二條　職務總則

第三條　到來書類

第四條　記錄ノ調製、記錄號

第五條　日記、事務番號

第六條　記錄帳簿

第七條　庶務記錄帳簿

第八條　書類ノ差出及其取扱、定期簿

第九條　命令ノ實行

第十條　執達吏トノ事務交通、執達委任簿

第二節　民事

第十一條　檢事關係訴訟事件簿

第三節　刑事

第十二條　內部事務ノ區域

第十三條　手扣記錄

第十四條　前手續事件簿

第十五條　刑事事件簿

第十六條　受刑人見出簿

第十七條　刑事控訴事件簿
第十八條　共助事件簿
第十九條　物品受渡簿
第四節　附則
第二十條第二十一條　附則

地方裁判所檢事局書記規則

第一節　通則

書記課組織

第一條　地方裁判所檢事局ニ書記課（裁判所構成法第八條）ヲ設ク

書記課ハ必要アルニ從ヒ之ヲ數部ニ分ツコトヲ得

書記ハ互ニ代理ヲ爲シ又事務繁多ナルトキハ相補助スヘシ

職務總則

書記課ニ雇員ヲ置キタルトキハ淨書、謄寫及記錄編綴ニ從事セシメ其他書記ノ事務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二條　書記ハ調書、文書（檢事ノ命ニ依リ起草スル文書）及謄本ヲ作リ罰金、科料、過料、訴訟費用、沒收物品及追徵金ノ徵收ヲ爲シ記錄及書類ノ整頓保存ヲ掌リ帳簿及表ヲ作リ其他事務取扱上必要ナル事務ニ服スヘシ

到來書類

第三條　到來ノ封書檢事局宛ノモノハ檢事正之ヲ開披シ書記課宛ノモノハ書記之ヲ開披シ監督書記差支ノ場合ニ於テハ檢事正ノ指定シタル書記其職務ヲ行フ

監督書記ハ主トシテ司法行政ニ係ル事務ヲ執リ且統計ニ係ル事務ヲ總括スヘシ

第三條　到來ノ封書檢事局宛ノモノハ檢事正之ヲ開披シ書記課宛ノモノハ書記之ヲ開披スヘシ

書類ヲ受付クルトキハ書記其外面ノ見易キ所ニ年月日ヲ記入シ附屬ノ文書アルトキハ其數ヲ附記スヘシ

第四條　同一ノ民事、刑事ノ事件ニ關スル書類ニ付記錄ヲ作ル又同種ノ事件ニ關スル書類ハ類聚記錄又ハ庶務記錄ト爲スコトヲ得

各記錄ニハ記錄號ヲ附ス庶務記錄ノ記錄號ハ庶務記錄帳簿ノ節ノ數字及其番號ヲ以テ之ヲ作ル（例ヘハ第壹節ノイノ第一號ナレハ「壹イ一」ト記スルノ類ノ如シ）其他ノ記錄ノ記錄號ハ各事件簿ノ符號文字及進行番號ニ事務年度ノ年數ヲ加ヘ之ヲ作ル例ヘハ「二三、（一六）」ト記スルノ類ノ如シ

記錄ハ毎葉丁數ヲ附ス其表紙ハ厚紙ヲ用ユヘシ檢事長ハ或ル種類ノ事件ニ付定式ノ表紙ヲ用ユルコトヲ定メ且通常ノ紙ノ表紙ヲ用ユルコトヲ定ムルヲ得

記錄號ハ區裁判所ヨリ差出シタル記錄ニモ亦之ヲ記ス勾留事件ハ勾留事件タルコト其他特別ニ至急ヲ要スル事件ハ至急事件タルコトヲ命スヘシ

記錄ヲ既濟トシテ藏置スルコトハ事件終局ノトキ檢事ノ命令ニ從ヒ之ヲ爲ス

記錄ノ表紙ニハ既濟トシテ藏置スル年度及保存ノ終ハル年ヲ記スヘシ

刑事ニ付控訴審及抗告審ニ於テ成立チタル書類ハ他ノ命令ナキトキハ第一審ノ記錄ニ併合ス

類聚記錄ハ一年間ヲ一冊又ハ數冊ニ編綴シ其表紙ニハ單ニ事件ノ名既濟トシテ藏置スル年度及

保存ノ終ル年ヲ記スルコトヲ得

第五條　書類ノ受授ヲ明ラカニスル爲書式第一號ニ從ヒ日記ヲ作ル此日記ニハ總テノ書類ヲ登記ス但送達證書ハ命令アリタルトキノミ之ヲ登記ス附屬書類ハ特別ノ必要アルトキ又ハ錯誤ヲ防クニ必要ナルトキノミ或ル書類ニ附屬スルモノナルコトヲ記ス（例ヘハ「五六ニ」ト記シ第五十六號書類ニ附屬ノ旨ヲ示スノ類ノ如シ）

記錄號ト日記番號トヲ併記シ事務番號ト爲ス事務番號ハ各書類ノ第一丁ノ右ニ附ス

日記ノ登記ハ到來ノ日之ヲ爲スコトヲ要ス書類到來ノ日主務書記ノ手ニ達セサルトキハ第二欄ニ兩日ヲ記スヘシ

記錄ノ初メニハ番號目錄紙ヲ附スヘシ目錄紙ニハ年度ヲ題記シ次ニ日記ノ番號ヲ順次ニ記スヘシ處分濟ノ書類ヲ記錄ニ綴込又ハ之ヲ他ニ遞付スルトキハ目錄ノ番號ヲ抹消シ且書類ヲ他ニ遞付スル場合ニ於テハ其遞付先ヲ記スヘシ

第八欄ハ同欄ニ記シタル事務ノ一年間ノ數ヲ容易ニ知リ得ル爲ニ設ク事件ヲ前手續事件簿ニ登記シタルトキ即チ事實ヲ取調フル爲ノ手續ヲ爲シタルトキハ第八欄「ロ」ノ小欄ヲ用ヒス

書類書記課ニ在ル間ハ其取扱手續ニ付證明ヲ要セス第九欄ハ書記課ヨリ他ニ遞付スルトキノミ之ヲ用ユ

第六條　記錄ハ帳簿（即チ事件簿）ニ登記シ且其登記ノ順序ニ從ヒ之ヲ保存ス

帳簿ハ一年一冊ト爲スヲ例トス然レトモ事務年度終リタル後前年度ノ分ト合綴スルハ便宜ニ任ス

一年間帳簿ニ記載シタル結果ハ年末ニ至リ集合シテ事務一覽表ニ掲ケヘシ新タニ調製スル帳簿ニ記錄ヲ移記スルコトハ（此場合ニハ從來ノ記錄號ヲ附スヘシ）第三年ノ初メニ於テ尙ホ未濟ナルトキニ限リ之ヲ爲ス前年ノ帳簿ニ月日ヲ記入スルトキハ其記入ノ年ヲ附記スヘシ

記錄ノ終局遞付ハ記錄帳簿ニ記スヘシ

第七條　庶務記錄ノ帳簿ハ書式第二號ニ從ヒ之ヲ作ル

庶務記錄帳簿ハ事件ノ種類ニ從ヒ數節ニ分チ之ヲ記ス

庶務記錄トハ司法ノ行政及監督事務ニ屬スル記錄其他特別ノ規程ニ係ル帳簿ニ載スヘカラサル一切ノ記錄ヲ謂フ

第八條　到來書類ハ記錄又ハ關係書類ヲ添附シ檢事命令ヲナス爲差出スヘシ送達證書ハ命令アルトキ又ハ書記其職務上ノ調査ニ依リ正式ノ送達ナカリシコトヲ見出シタルトキノミ之ヲ差出スヘシ

事務取扱中ノ書類ハ事務取扱上經過ノ程度ニ從ヒ之ヲ區別ス例ヘハ

一事務番號ヲ附スヘキ書類（新事件）

二檢事命令ヲナス爲ニ差出スヘキ書類

三寫字生、執達吏等ニ交付スヘキ書類

四既濟ノ書類

事務取扱中ノ書類ニハ之ニ屬スル記錄又ハ關係書類ヲ添附ス特別ノ原因殊ニ記錄及其附屬書類ノ大部ナル爲ニ分離ヲ要スルトキハ之ヲ合併スルヲ得ルニ至ルマテ各別ニ之ヲ保存ス

書棚幷ニ書類入ノ外ニハ現ニ取扱中ノ事務ニ屬スル記錄及書類ニ限リ之ヲ置クコトヲ得

期日及期間ハ書式第三號ニ從ヒ作ルヘキ定期簿ニ書記之ヲ掲クヘシ進行番號ハ登記ヲ爲ス日毎ニ數字ノ一ヲ以テ始ム

記錄ハ檢事ヨリ他ノ命令ナキトキハ期日ヨリ二十四時間前ニ差出スヘシ

記錄ヲ檢事ニ差出シタルトキハ進行番號ヲ抹消シ之ヲ表ホスヘシ

第九條　檢事ヨリ起草ヲ命セラレタル文書ハ解シ易キ官用ノ文章ヲ以テ之ヲ記シ其文書ニハ事件ノ標目及事務番號ヲ附記シ且欄外ニ取扱ノ種類（例ヘハ郵便ニ付スル送達、郵便ニ依ル送達、書留郵便、執達吏ニ依ル送達、無手數料送達、送附等）ヲ記シ之ニ從ヒ淨書及謄本ヲ作ル此場合ニ於テ執達吏ハ其受取ルヘキ書類ニ依リ何人ノ委任ニ依リ何人ニ送達スヘキカ又如何ナル手續ニ依リ送達スヘキカ又至急ヲ要スルヤ否ヲ知ルヘキモノトス右ニ付書記ハ書類ニ必要ナル附記ヲ爲

スヘシ送達及交付ノ種類ハ略語ヲ以テ記スルコトヲ得

官廳ヘノ回答書ニハ其官廳ノ事務番號ヲ記スヘシ書式ヲ用ユヘキトキ之ヲ命令ニ掲ケサルトキハ書記其書式ヲ記スルコトヲ要ス（例ヘハ書式「二五ニ」ト記シ書式第二十五號ニ從フヘキコトヲ示スノ類ノ如シ）

書記ハ檢事ノ署名スヘキ書面ニ檢印ヲ捺テ誤謬ナキコトヲ證スヘシ

書記ハ遲滯ノ恐レアルトキ又ハ費用ヲ節減シ得ヘキトキハ郵便ニ依リ送達ヲ爲サシムヘキモノトス（民事訴訟法第百三十六條第三項第四項刑事訴訟法第十九條）但特ニ執達吏ノ送達ヲ要スヘシト思料スルモノハ此限ニ在ラス

送達證書ヲ要セサル送達（法律ノ規程ニ拘ラサル送達）ハ郵便ヲ以テ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ廷丁ヲシテ郵送シタルコトヲ證セシムヘシ

裁判所掲示板ニ貼附スヘキ書類ハ掲示簿ヲ掌トル書記ニ交付スヘシ

第十條　書記ト執達吏トノ委任授受ハ可成口頭ニテ之ヲ爲スヘシ

直チニ執行スヘキ委任ハ執達吏ニ送付ス其他ノ委任ハ閉鎖スヘキ書函ニ書類ヲ差入ルヽヲ以テ之ヲ爲ス書函ノ鍵ハ書記執達吏各一箇ヲ持ツモノトス

書函ハ委任ニ關スル書類ヲ差入ルヽ爲書記課中ニ之ヲ設ク

執達吏ノ事務交通

執達委任簿　第四號

檢事關係訴訟事件簿　第五號

書記ハ委任ニ關スル書類ヲ書函ニ差入ルヽトキ相當ノ區別ヲ爲シ置ク可シ（例ヘハ送達、送付、執行、特別ノ官ノ委任類ノ如シ）

執達吏ハ定マリタル時間ニ書記課ニ出頭シ且求アリタルトキハ委任ノ取扱ニ付細報ヲ爲シ新委任ニ付遺漏不完全ノコトアルトキハ質問ヲ爲スヘシ

書記ト執達吏トノ委任授受ニ付テハ書面ヲ以テ證スルヲ要セス若シ之ヲ必要トスルトキハ書式第四號ニ從ヒ執達委任簿ヲ作ルヘシ

委任授受ニ委任簿ヲ用ユルトキハ委任書類ニ其帳簿ヲ添ヘ書函ニ差入ルヘシ

第二節　民事

第十一條　檢事關係訴訟事件ノ帳簿ハ書式第五號ニ從ヒ之ヲ作ル記錄號ヲ作ルニハ第一欄ニ記シタル進行番號ヲ用ユ第四欄ハ第五欄ノ「イ」及「ロ」ニ掲ケタル事件ニ關スルトキノミ之ヲ用ユ

第五第六第七ノ三欄中唯一ノ小欄ノミ記入ス婚姻及養子緣組事件ニ付數種ノ申立アル場合ニ於テ上欄ニ記入シタルトキハ下欄ヲ用ヒス（例ヘハ婚姻ノ無効及離婚ノ申立ヲ爲シタルトキハ第六欄ノ「ロ」ニノミ記入スルノ類ノ如シ）

第五欄乃至第七欄ニ記スヘキ進行番號ハ各小欄ニ付數字ノ一ヲ以テ始ム第八欄モ亦同シ若シ準禁治産事件ノ訴訟ナルトキハ其番號ノ側ニ書線シ之ヲ表示スヘシ（第五欄ノ「ハ」及「ニ」）

第八欄ニ記スル事件ハ民事訴訟法第四十二條ノ區別ニ從ヒ備考ノ欄ニ之ヲ表示スヘシ

本條ノ事件ニ付テハ類聚記錄ヲ作ル

第三節　刑事

内務事務ノ區域

第十二條　記錄ノ調製及保存、刑事ニ於ケル記錄帳簿ノ取扱ハ地方裁判所書記規則ニ於テ地方裁判所書記ノ主掌ニ屬セサルモノハ檢事局書記之ヲ爲ス

檢事局書記ハ記錄ノ差出ニ付刑事部、豫審判事及受命判事ノ命令ニ從フヘシ

區裁判所檢事局檢事ニ付テノ抗告ノ取扱ハ檢事局書記課ニ屬スル記錄ノ調製ハ檢事正ノ命令ニ從フ

手扣記錄

第十三條　記錄ヲ他官廳ニ遞付シ又ハ刑事部ニ差出ストキ特ニ命セラレタル書類（原本又ハ謄本）ハ之ヲ殘シ置クヘシ此書類ハ記錄ノ返還アルヘキ場合ニ於テハ其記錄ヲ備クヘキ場所ニ之ヲ備キ後日命令ニ從ヒ本記錄ニ附シ又ハ類聚記錄ニ附スヘシ

前手續事件簿

檢事局ニ付特別ノ手扣記錄ヲ作ルトキハ其調製ノ旨ヲ記錄帳簿備考ノ欄ニ畧記スヘシ

控訴審及抗告審ニ於テ成立チタル書類ニシテ本記錄ニ併合スヘカラサルモノハ區裁判所檢事ノ記錄ニ附スヘシ

第十四條　前手續事件ノ帳簿ハ書式第六號ニ從ヒ之ヲ作ル前手續ニ關スル書類ハ特ニ記錄調製ノ命ナキトキハ類聚記錄ト爲ス

第一　搜査手續

搜査手續ニ付テハ（刑事訴訟法第四十六條乃至第六十一條）第一欄乃至第四欄ヲ用ユ檢事犯罪アルコトヲ認知シ又ハ犯罪アリト思料シ且搜査ノ手續ヲ必要トスルトキハ被告人ノ誰タルコトヲ知ル能ハサル場合ト雖モ之ヲ本帳簿ニ登記ス被告人ノ氏名ハ知リ得ルニ隨ヒ第二欄ニ記ス檢事搜査手續ヲ停止シタル後更ニ訴ヲ起ストキハ第四欄ノ記入ヲ抹消シ備考ノ欄ニ其事由ヲ畧記スヘシ

第二　豫審

豫審ヲ請求シタルトキハ第三欄ニ記シタル月日ヲ抹消シ統計ノトキ豫審事件トシテ數フヘシ

第三　前手續結局後ニ係ル手續

豫審ニ付テハ第八欄ヲ用ユ

豫審チ求メタルトキハ重罪トシ若ハ輕罪トシテ豫審ヲ求メタルコト及其月日ヲ第六欄ニ記スヘシ

豫審終結ノ決定ハ第九欄ニ記スヘシ刑事訴訟法第百六十六條及第百六十七條第一項前段ノ場合

ニ於テハ其裁判所ノ名ヲ第九欄「イ」ニ記シ刑事部ニ於テ公判ヲ開キタルトキハ同欄ニ刑事事件簿ノ進行番號ヲ記ス

免訴ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テハ第九欄「ロ」ニ記スヘシ

數罪俱發ノ場合ニ於テ其一罪ニ付公判ヲ開キタルトキハ第九欄ノ「ロ」ヲ用ヒス數人ニ對シ前手續ヲ爲シタル場合ニ於テ其中一人ニ對シ公判ヲ開キタルトキモ亦同シ

捜査手續ヲ爲シ被告事件區裁判所ニ起訴スヘキモノナルトキハ第五欄ヲ用ヒ

第四　前手續ノ終局

檢事捜査手續ヲ停止シ（第四欄）又ハ豫審判事免訴ノ言渡ヲ爲シタルトキ（第六欄）第十欄ノ「イ」及「ロ」ニ記シ其記錄ハ帳簿ノ順ヲ以テ保存スヘシ

檢事ヨリ記錄ヲ區裁判所檢事ニ送付シタルトキ（第五欄ノ「イ」及「ロ」）ハ其手續ハ帳簿上終局ト看做ス

公判ヲ開キタルトキハ（第九欄ノ「イ」）其記錄ハ公判ノ記錄ノ一部分又ハ附屬書類ト爲ル

前項ノ外他ノ裁判所ノ管轄ナルニ因リ記錄ヲ送付スルトキハ備考ノ欄ニ其事由ヲ畧記スヘシ

第五　捜査ノ手續ナキ公判

檢事別ニ事件ノ捜査ヲ命セスシテ公判ヲ請求シタルトキモ亦其事件ヲ第六欄第七欄ニ記スヘシ

第十五條　刑事事件ノ帳簿ハ書式第七號ニ從ヒ之ヲ作ル

第五欄ニ記スヘキ番號ハ各小欄（イ、ロ、）ニ付數字ノ一ヲ以テ始ム記錄號ハ其小欄ノ符號文字ト數字ヲ以テ作ル（例ヘハ廿三年重罪事件第一號ナレハ二三と一ト記スルノ類ノ如シ）

被告人一人ニ對シ數罪ノ爲公判ヲ開キタルトキハ尤モ重キ刑ニ該ルヘキ犯罪ノミヲ第五欄ニ記ス

帳簿ハ刑事部ノ數ニ應シテ之ヲ作ル

第六欄ニハ事件ノ終局シタル裁判所ノ小欄ノミヲ記ス其記入ニハ記錄號ニ用ユル第五欄ノ符號文字ヲ用ユ

控訴裁判所原判決ヲ取消シタルトキハ備考ノ欄ニ之ヲ畧記シ且上告裁判所其事件ヲ自ラ判決シ又ハ原裁判所或ハ他ノ裁判所ニ移シタルコトヲ記スヘシ他ノ裁判所ニ移シタル場合ニ於テ事件ハ帳簿上終局ト看做シ第六欄ノ「ニ」ヲ記ス

重罪輕罪違警罪ニ付刑ノ言渡確定シタルトキハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ氏名、年齡、身分、職業、住所、現在地（住所ナキトキ）出生ノ地、罪名刑名、刑期、犯數、刑ノ言渡ヲ爲シタル年月日及對審、闕席ノ

ニ於テハ其裁判所ノ名ヲ第九欄「イ」ニ記シ刑事部ニ於テ公判ヲ開キタルトキハ同欄ニ刑事事件簿ノ進行番號ヲ記ス

免訴ノ言渡ヲ爲シタル場合ニ於テハ第九欄「ロ」ニ記スヘシ

數罪俱發ノ場合ニ於テ其一罪ニ付公判ヲ開キタルトキハ第九欄ノ「ロ」ヲ用ヒ數人ニ對シ前手續ヲ爲シタル場合ニ於テ其中一人ニ對シ公判ヲ開キタルトキモ亦同シ

搜查手續ヲ爲シ被告事件區裁判所ニ起訴スヘキモノナルトキハ第五欄ヲ用ユ

第四　前手續ノ終局

檢事搜查手續ヲ停止シ（第四欄）又ハ豫審判事免訴ノ言渡ヲ爲シタルトキ（第九欄）第十欄ノ「イ」及「ロ」ニ記シ其記錄ハ帳簿ノ順ヲ以テ保存スヘシ

檢事ヨリ記錄ヲ區裁判所檢事ニ送付シタルトキ（第五欄ノ「イ」及「ロ」）ハ其手續ハ帳簿上終局ト看做ス

公判ヲ開キタルトキハ（第九欄ノ「イ」）其記錄ハ公判ノ記錄ノ一部分又ハ附屬書類ト爲ル

前項ノ外他ノ裁判所ノ管轄ナルニ因リ記錄ヲ送付スルトキハ備考ノ欄ニ其事由ヲ畧記スヘシ

第五　搜查ノ手續ナキ公判

檢事別ニ事件ノ搜查ヲ命セスシテ公判ヲ請求シタルトキモ亦其事件ヲ第六欄第七欄ニ記スヘシ

第十五條　刑事事件ノ帳簿ハ書式第七號ニ從ヒ之ヲ作ル

第五欄ニ記スヘキ番號ハ各小欄（イ、ロ、）ニ付數字ノ一ヲ以テ始ム記錄號ハ其小欄ノ符號文字ト數字ヲ以テ作ル（例ヘハ廿三年重罪事件第一號ナレハ二三と一ト記スルノ類ノ如シ）

被告人一人ニ對シ數罪ノ爲公判ヲ開キタルトキハ尤モ重キ刑ニ該ルヘキ犯罪ノミヲ第五欄ニ記ス

帳簿ハ刑事部ノ數ニ應シテ之ヲ作ル

第六欄ニハ事件ノ終局シタル裁判所ノ小欄ノミヲ記ス其記入ニハ記錄號ニ用ユル第五欄ノ符號文字ヲ用ユ

控訴裁判所原判決ヲ取消シタルトキハ備考ノ欄ニ之ヲ畧記スヘシ

上告裁判所原判決ヲ破毀シタルトキモ亦備考ノ欄ニ之ヲ畧記シ且上告裁判所其事件ヲ自ラ判決シ又ハ原裁判所或ハ他ノ裁判所ニ移シタル場合ニ於テ事件ハ帳簿上終局ト看做シ第六欄ノ「ニ」ヲ記ス

重罪輕罪違警罪ニ付刑ノ言渡確定シタルトキハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ氏名、年齡、身分、職業、住所、現在地（住所ナキトキ）出生ノ地、罪名刑名、刑期、犯數、刑ノ言渡ヲ爲シタル年月日及對審、闕席ノ

區別ヲ記シタル判決ノ通知書ヲ作リ其住所又ハ現在地ノ地方裁判所檢事局ニ送致スヘシ

右送致ヲ受ケタル檢事局ノ書記ハ檢事正ノ命ヲ受ケ其旨ヲ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ住所又ハ現在地ノ市町村長ニ通知スヘシ

第十六條　受刑人見出ノ帳簿ハイロハ分ヲ以テ書式第八號ニ從ヒ之ヲ作ル

受刑人見出ノ帳簿ニハ刑事事件簿ニ依リ刑ヲ言渡サレタル者毎ニ重罪輕罪及違警罪ニ付他ノ裁判所ニ於テ刑ヲ言渡サレタル者ニシテ其住所又ハ現在地（任所ナキトキ）ヲ地方裁判所管內ニ有スル者ヲ登記ス

受刑人ノ氏名ハ單ニ一回之ヲ記シ後日ノ處刑ハ備考ノ欄ニ追記ス

數人ニ對シ共同ニ公判ヲ爲シタルトキハ各別ニ其氏名ヲ登記スヘシ

檢事局ニ送致シ來ル判決ノ通知ハ類聚記錄ト爲ス（第三欄ノ「ロ」）

一記錄中ニ完全ナル前科取調書アルトキハ備考ノ欄ニ之ヲ指示スヘシ

第十七條　刑事控訴事件ノ帳簿ハ書式第九號ニ從ヒ之ヲ作ル第一欄乃至第五欄ハ記錄到來ノトキ直チニ之ヲ記シ第六第七第八ノ三欄ハ控訴審終局ノ後之ヲ記ス

終局ノ種類ヲ證明スヘキ欄ハ（第六欄ノ「イ」「ロ」「ハ」）區裁判所ノ記錄號ニ用ヒタル文字（第二欄「ロ」）ヲ審入スルヲ以テ之ヲ爲シ欄ハ唯一ノミヲ用ユ控訴審ニ於テ判決ナク手續終局シタルトキハ（刑事訴訟法第二百四十六條）第六欄「イ」及「ロ」ヲ用ヒス

判決ノ要旨ハ解スヘキ畧語ヲ以テ帳簿ニ記スルコトヲ得

第十八條　檢事局ニ宛タル他ノ官廳ノ囑託ニ關スル書類ハ書式第十號共助事件簿ニ記スヘシ

記錄號ハ帳簿ノ進行番號ニ「キシ」ノ文字ヲ加ヘ之ヲ作ル檢事局ニ於テ成立テ囑託官廳ニ遞付セサル書類ハ類聚記錄ト爲ス

共助事件終局スルトキハ總テノ關係書類ヲ囑託官廳ニ遞付スルヲ例トス

第十九條　物品受渡簿ハ區裁判所檢事局書記規則第十六條ノ規程ニ從ヒ之ヲ作ル受付又ハ遞付ノ命令ハ檢事又ハ裁判所ヨリ之ヲ爲スコトヲ得

第四節　附則

第二十條　刑事ノ統計表調製ニ付テハ現行ノ規則又ハ後來定ムル所ノ特別ノ規則ニ從フヘシ

第二十一條　從前ノ規則ニ從ヒ終局スヘキ事件ニ付テハ帳簿ノ記載其他書記ノ事務ニ付テノ現行ノ規則ニ從フヘシ但本規則第十二條及地方裁判所書記規則第二十八條ニ揭ケタル裁判所書記及檢事局書記ノ事務區域ニ關スル規程ハ之ヲ準酌シテ適用スヘキモノトス若シ事務區域ニ付疑アルトキハ控訴院長及檢事長之ヲ協議規定スヘキモノトス

受刑人見出簿　第八號

刑事控訴事件簿　第九號

共助事件簿　第十號

物品受渡簿

附則

同

（書式中各欄內假設記入文字及欄外附記文字幷ニ書式ノ末尾ニ記入方ヲ記シタルモノニシテ原本中朱ナルモノハ「」及……點ヲ附ス）

書式（用紙美濃紙）

書式目錄

番號	規則ノ條箇	名稱	符號文字
一	五	日記	
二	七	庶務記錄帳簿	
三	八	定期簿	
四	一〇	送執委任簿	
五	一一	檢事關係訴訟事件簿	は
六	一四	前手續事件簿	へ
七	一五	刑事事件簿	と
八	一六	受刑人見出簿	ち

九	一七	刑事控訴事件簿	リ
一〇	一八	共助事件簿	キシ

第一號（規則第五條）

日記ノ進行番號ヲ記ス

自何號
至何號

明治何年何月

日記

某地方裁判所
檢事局

毎年進行番號		書類到來ノ月日	記錄號	差出人ノ氏名	書面ノ大要	檢事ノ氏名	命令ノ月日	毎年進行ノ員數 申立 直チニ管轄廳ニ送致シタルモノ	申立 直チニ却下シタルモノ	特赦復權事件ノ進達	其後ノ處分ノ爲記錄遞付 先	月日	終局トシテ記錄ニ附シタル月日
一	一	二三、一ノ二	二三ノ一	何某	二二、一二ノ二九告訴	某	二三ノ一〇	一					二三ノ一〇
二	二	一ノ二三	二三ノ二	何某	一ノ一告發		一ノ五二				浦和檢事局へ	二三ノ一〇	

〔一此日記ハ一ケ月毎ニ之ヲ作ル事務僅少ナル檢事局ニ於テハ一帳簿中ヲ區別シテ之ヲ記スルコトヲ得

一第一欄ハ一年ニ取扱フ事件ノ數ヲ見ルモノニシテ取扱事件ノ順序ニ從ヒ數ヲ逐テ記入スルモノニ

トス 以下毎年進行番號ノ欄皆同シ

一第三欄ノ記錄號ハ規則第四條ニ規定スルモノヲ謂フ以下記錄號ノ欄皆同シ

一第二欄第七欄第九欄第十欄ノ月日ヲ記入スルニ年ヲ跨ルトキハ年ノ數ヲ傍記ス（例ヘハ明治二十三年一月五日ナレハ「二三、一ノ五」ト記スルノ類ノ如シ）以下月日ヲ記入スルノ欄皆同シ

一第八欄第九欄ハ書類ノ裁判所ニ止マラサルトキニ用ヒ第十欄ハ書類ノ裁判所ニ止マルトキニ用ユルモノニシテ第九欄ニハ記錄遞付先ト月日ヲ記入シ第十欄ニハ處分濟ノ書類ヲ記錄ニ編入スル月日ヲ記入ス

第八欄ノ申立ハ告訴告發等ノ申立ヲ謂フ直チニ却下シタルモノトハ別ニ捜査ノ手續ヲ爲サス其申立ヲ却下シタルモノヲ謂フ直チニ管轄廳ニ送致シタルモノトハ別ニ捜査ノ手續ヲ爲サス其申立ヲ管轄ノ裁判所ヘ送致シタルモノヲ謂フ

特赦事件、復權事件トハ刑事訴訟法第三百二十六條及第三百三十一條ニ依リ進達スルモノヲ謂フ〕

番號	年度	記錄ノ名稱	冊數	既濟年度	保存ノ終ルヘキ年	備考
一	二	三	四	五	六	七
二	明治六	司法省訓令類聚	一		永久	
一	二	三	四	五	六	七

明治何年

庶務記錄帳簿

某地方裁判所
檢事局

第二號（規則第八條）

[他官廳トノ事務交通]

[貳ノロ]

番號	年度	記錄ノ名稱	冊數	既濟年度	保存ノ終ル年	備考
一	二	三	四	五	六	七
一	明治二〇	警察署往復綴	一			

[參ノイ]

[檢事及試補]

番號	年度	記錄ノ名稱	冊數	既濟年度	保存ノ終ル年	備考
一	二	三	四	五	六	七
一	明治二〇	檢事何某	何記錄一冊	二三	二九	免職

〔一庶務記錄ハ數節ニ分チ之ヲ登記ス例ヘハ

第壹節　法律命令及說明

壹ノイ　法律命令ノ類聚

壹ノロ　民事訴訟ニ關スルモノ

壹ノハ　刑事訴訟ニ關スルモノ

壹ノニ　訴訟費用ニ關スルモノ

壹ノホ　雜

第貳節　檢事局ノ構成及組織

貳ノイ　檢事局ノ構成及組織ニ關スルモノ

貳ノロ　他官廳トノ事務交通ニ關スルモノ

貳ノハ　管內區裁判所檢事局ノ監督ニ關スルモノ

貳ノニ　書記以下職員ニ關スルモノ

貳ノホ　圖書及什器ニ關スルモノ

貳ノヘ　雜

第參節　身分

參ノイ　檢事及試補

參ノロ　書記及雇

參ノハ　廷丁及小使

參ノニ　雜

第肆節　統計表諸報告

肆ノイ　刑事統計

肆ノロ　事務一覽表

肆ノハ　雜

一第二欄ニハ記錄ノ年度ヲ記ス

一第五欄ノ既濟年度トハ記錄ノ不用トナリタル年度ヲ謂フ

一第六欄保存ノ終ル年トハ記錄ノ既濟トナリタル後其保存スヘキ年度ヲ謂フ以下保存ノ終ル年ノ欄皆同シ」

第三號（規則第八條）

明治何年

定期簿

某地方裁判所

檢事局

［何月何日］

期日								期間							
毎日進行番號	記錄號	日記ノ番號	事件ノ目標	期日ノ時刻	期日ヲ開ク官廳ノ名	終局ヲ證スル日記ノ番號及備考		毎日進行番號	記錄號	命令		事件ノ目標	終局書類又ハ取扱書類ノ番號	備考	
										命令ヲ記シタル書類ノ番號	命令ヲ下シタル者				
一	二	三	四	五	六	七	八	九	イ	ロ	十	十一	十二	十三	
一	二三ヘ一	一	某ヨリ某ニ對ス	午前九	某	一〇	一	二三ヘ一〇	一	某		某事件	三〇		
二	二三ヘ二	二	某事件	午後一	同	二〇	二	二三ヘ一五	一	某		某事件	四〇		

〔一此定期簿ハ檢事局ヲ數部ニ分チタルトキハ各部毎ニ若ハ各部ノ書記毎ニ一冊ヲ作ル

一第一欄第八欄ノ毎日進行番號ハ一日ニ取扱フ事件ノ數ヲ見ルモノニシテ取扱事件ノ順序ニ從ヒ期日、期間毎ニ數ヲ起シ順次數ヲ逐テ記入ス以下毎日進行番號ノ欄皆同シ

一第三欄日記ノ番號ハ書式第一號日記ニ記シタル書類ノ番號ニシテ檢事期日ヲ定ムルノ命令ヲ記シタル書類ノ番號ヲ謂フ

一第七欄ニハ第三欄ノ書類ニ記スル命令ニ依リ成立チタル書類等ノ番號即チ日記（書式第一號）ニ記スヘキ番號及備考ヲ記入ス若シ期日前事件結了シタルトキハ其事由ヲ記入シ期日ニ處分ヲ要セサルコトヲ表ス

一第十欄「イ」ニハ日記（書式第一號）ニ記シタル書類（期間ヲ定ムル命令ヲ記シタル書類）ノ番號ヲ記入シ「ロ」ニハ命令ヲ下シタル者ノ氏ヲ記入ス

一第十二欄ニハ第十欄ノ書類ニ記スル命令ニ依リ成立チタル書類等ノ番號ヲ記入ス別ニ成立ツ書類ナキトキハ第十欄ノ書類ノ番號ヲ記入ス若シ期間前ニ事件結了シタルトキハ其事由ヲ第十三欄ニ記入シ期間ニ處分ヲ要セサルコトヲ表ス〕

明治何年

執達委任簿

某地方裁判所
檢事局

第四號（規則第十條）

毎日進行ノ番號	交付ノ月日	記錄號	刑事被告人ノ氏名	返納ノ月日
一	二三一ノ五㊞	二（は）三一	何某	二六ノ八
二	一ノ六㊞	二（は）三一	何某	一ノ八

〔一〕此委任簿ハ檢事局ヲ數部ニ分チタルトキハ各部ニ於テ執達吏毎ニ一冊ヲ作ル

一第二欄ニハ書記月日ヲ記入シ執達吏領收ノ證トシテ之ニ捺印ス

一第四欄ニハ刑事被告人ノ氏名ヲ記入ス

一第五欄ニハ送達證書ノ正本ヲ書記課ニ返納シタルトキ又ハ交付證書ヲ書記課ニ差出シタルトキ書記其月日ヲ記入ス」

第五號（規則第十一條）

明治何年

檢事關係訴訟事件簿

は

某地方裁判所

檢事局

毎年進行番號		一	一	二	
記錄號		二	二三（は）二	二三（は）五	
氏名身分職業住所又ハ現在地	申立人又ハ原告人	イ	住所身分職業何某	住所身分職業何某	
	相手人又ハ被告人	三ロ	現在地身分職業何某	住所身分職業何某	
區裁判所ノ名		四	芝	下谷	
禁治産事件 於區裁判所	禁治産	イ	一		
	禁治産ノ解止	ロ			
	禁治産ノ決定ニ對スル不服ノ訴	五ハ	一		
	禁治産ノ解止ノ申立ヲ却下スル決定ニ對スル不服ノ訴	ニ			
婚姻事件	不成立	イ			
	無效	ロ		一	
	離婚	六ハ			
	同居	ニ			
養子緣組事件	不成立	イ			
	無效	ロ七			
	離緣	ハ			
其他檢事立會訴訟事件		八			
確定シタル判決ノ	月日	イ	二三 二ノ一	二ノ二	
	要旨	九ロ	準禁治産ノ決定ヲ取消ス	婚姻無效費用ヲ被告ニ負擔セシム	
記錄	既濟年度	イ	二三	二三	
	保存ノ終ル年	十ロ	二九	二九	
備考		十一			

〔一第四欄ハ第五欄ノ「イ」及「ロ」ノ小欄ニ掲ケタル事件ニ關スルトキノミ之ヲ用ユ

一第五欄第六欄第七欄ニハ其小欄ノ區別ニ從ヒ各事件ノ進行番號ヲ記入ス第八欄モ亦同シ

第五欄第六欄第七欄ハ各事件ニ付唯タ一ノ小欄ノミヲ用ユ

第五欄「ハ」ノ小欄ニハ區裁判所ニ於テ禁治産ノ宣告ヲ爲シタル決定ニ對シ不服ヲ訴フルモノヲ記入シ「ニ」ノ小欄ニハ禁治産解止ノ申立ヲ却下スル決定ニ對シ不服ヲ訴フルモノヲ記入ス

準禁治産ニ關スル訴ナルトキハ進行番號ヲ記入シタル側ニ畫線ス

一婚姻事件ニ於テ數種ノ申立アル場合ニモ亦一欄ノミヲ用ユ

例ヘハ婚姻ノ無效及離婚ノ申立ヲ爲シタルトキハ第六欄「ロ」ノミヲ用ユ

婚姻事件ノ訴ニ養子縁組事件ノ訴ヲ併合シタルトキハ（廿三年法律第百二號第三條）一事件トシテ主タル欄ニ記入ス

一第十欄「イ」ノ既濟年度トハ記錄ヲ既濟トシテ藏置スル年度ヲ謂フ以下既濟年度ノ欄皆同シ」

明治何年

前手續事件簿

某地方裁判所

檢事局

第六號（規則第十四條）

每年進行番號	被告人ノ氏名身分職業住所又ハ現在地	事實搜査ノ取調ヲ命令シタル月日	區裁判所檢事局ニ記錄ノ遞付	檢事ノ起訴	豫審終結決定ノ	記錄
			廳名 月日	公判豫審ノ爲呼出狀ヲ發シタル月日	公判ニ付スル區裁判所又ハ番號（進行ス）（ノ名）	既濟年度
				公判ニ付スル旨（要）		保存ノ終ル年
一	住所身分職業 何某 四	二三 一ノ		二一ノ二三 二ノ重罪トシテ豫審ヲ求ム	二三 一ノ 二一	二三二三二九 一ノ 二五 免訴
二	住所身分職業 何某 二〇	一ノ		一ノ二一 輕罪トシテ豫審ヲ求ム	一ノ 二二	
三	住所身分職業 何某			一ノ二一 輕罪トシテ豫審ヲ求ム	一ノ 二一	年月日管轄違ノ言渡アリ同月何日某地方裁判所ヘ記錄ヲ送付ス
四	住所身分職業 一ノ 何某 二二		芝 一ノ 二三			

備考

〔一第三欄ニハ警察官等ノ命令シ犯罪ノ搜査ヲ爲サシメタル場合ニ於テ其搜査ヲ命令シタル月日ヲ記入ス第四欄ニハ搜査ノ手續ヲ停止シ起訴セサルコトニ決シタル月日ヲ記入ス

事實ノ取調ヲ爲シタル事件ニシテ豫審ヲ請求シタルトキハ第三欄ノ月日ヲ抹消ス

第五欄ニハ被告事件ヲ區裁判所ニ送致スルトキ其廳名月日ヲ記入ス但豫審判事ノ區裁判所ニ移ス決定ニ依リ送致スルモノハ第九欄「イ」ニ記入ス

第六欄ニハ豫審又ハ直チニ公判ヲ請求シタルコト及其月日ヲ記入ス

第七欄ニハ直チニ公判ヲ請求シタルモノニシテ呼出狀ヲ發シタル月日ヲ記入ス

第九欄「イ」ノ小欄ニハ公判ニ付スルノ決定及區裁判所ニ移スノ決定ヲ記入ス公判ニ付スルノ決定ノ場合ニ於テハ刑事事件簿ノ進行番號ヲ記入シ區裁判所ニ移スノ決定ノ場合ニ於テハ其廳名ヲ記入ス「ロ」ノ小欄ニハ免訴ノ言渡等ヲ記入ス

檢事事實ノ取調ヲ爲シタル後他ノ地方裁判所等ヘ送致シタル事件ハ備考ノ欄ニ其事由ヲ記入ス

豫審判事管轄違ノ言渡ヲ爲シタルモノモ亦同シ」

明治何年

刑事事件簿

と、ち

某地方裁判所

檢事局

第七號（規則第十五條）

一	公判ノ爲呼出狀ヲ發シタル月日	二三 一ノ九	一ノ九		
二	前手續事件簿ノ進行番號	一	三		
三	被告人ノ氏名身分職業住所又ハ現在地	住所身分職業 何某	現在地身分職業 何某		
四	罪名	竊盜	竊盜		
イ五	公判ノ毎年進行番號 重罪と				
ロ	輕罪ち	一	二		
イ	終局 第一審ニ於テ 判決ニ依ルモノ	ち			
ロ六	判決ナキモノ		ち		
ハ	控訴審ニ於テ				
ニ	上告審ニ於テ				
イ	確定シタル判決ノ 月日	二三 一ノ一二	一ノ一二		
ロ七	要旨	重禁錮一年 監視三月	重禁錮二月 監視一月		
八	確定ノ月日				
九	罰金科料完納ノ月日				
十	體刑執行ノ初日	二三 一ノ一六	一ノ一六		
イ十一	記錄 既濟年度	二三	二三		
ロ	保存ノ終ル年	二九	二九		
十二	備考				

〔一第一欄ニハ公判ノ爲最初呼出狀ヲ發シタル月日ヲ記入ス

一第四欄ニハ罪名ヲ記入スルトキ數罪俱發ノモノアルトキハ其重モナルモノヲ記入ス

二第六欄ニハ其小欄ノ區別ニ從ヒ手續ノ終局區別ヲ見ル爲ニ各事件ノ符合文字ヲ記入ス

「イ」ノ小欄ニハ總テ本案ノ判決ヲ爲シタル事件ヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ總テ判決ナク終局シタル事件ヲ記入シ「ニ」ノ小欄ニハ上告ノ上終局シタル事件ヲ記入シ「ハ」ノ小欄ニハ控訴ノ上終局シタル事件ヲ記入ス

控訴審ニ於テ原判決ヲ取消シタルトキハ備考ノ欄ニ之ヲ畧記ス上告審ニ於テ原判決ヲ破毀シタルトキモ亦備考ノ欄ニ之ヲ畧記シ且上告裁判所其事件ヲ自ラ判決シ又ハ原裁判所或ハ他ノ裁判所ニ移シタルコトヲ記入ス

「ホ」第七欄「ロ」ノ小欄ニハ確定シタル刑名刑期及金額ヲ記入ス若シ罰金科料ヲ禁錮拘留ニ換ユタルトキハ其刑期ヲ傍記シ備考ノ欄ニ其事由ヲ記入ス」

明治何年

受刑人見出簿

某地方裁判所

檢事局

［イ］

進行番號	刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ氏名 身分職業住所又ハ現在地	刑事々件ノ見出 刑事件簿 年度	符號文字及進行番號	類聚記錄 冊數	類聚記錄 丁數	備考
一	住所身分職業 伊藤三五郎	二三	ち 三〇	一	一	
二	住所身分職業 石田太藏	二三	ち 三五	一	一	

［一第三欄「イ」ノ小欄ニ刑事々件簿トアルハ地方裁判所ノ刑事事件簿ヲ謂ヒ同欄中進行番號トアルハ同事件簿ニ記載シタル進行番號ヲ謂フ

又「ロ」ノ小欄ノ類聚記錄トハ檢事局ニ送致シ來ル判決ノ通知ヲ類聚記錄ト爲シタルモノヲ謂フ」

二

四十二

第九號（規則第十七條）

明治何年

刑事控訴事件簿

某地方裁判所

檢事局

四十三

毎年進行番號	區裁判所	名	記錄號	被告人ノ氏名身分職業住所又ハ現在地	第一審ノ判決	月日	要旨	控訴ヲ起シタル者	控訴審ニ於テ終局	期限ノ經過后ニ係ル控訴ヲ棄却スル判決ニヨルモノ	他ノ判決ニ依ルモノ	判決ナキモノ	第二審ノ判決	月日	要旨	記錄ノ遞付	先	月日	備考
一	イ	芝	二三は三〇	住所身分職業 何某	イ	二三 二ノ一〇	毆打創傷 重禁錮二月	被告人及區裁判所檢事	イ	一			イ	二三 二ノ一五	棄却	イ	某區裁判所檢事	二三 二ノ一六	
二	ロ								ロ				ロ						
三		麴町	二三は四八	現在地身分職業 何某		三ノ一五	竊盜 重禁錮二月監視一月	被告人			一			三ノ二一	重禁錮一月監視一月		某區裁判所檢事	三ノ二二	

〔一 第六欄「イ」ノ小欄ニハ刑事訴訟法第二百六十條ニ依リ控訴ヲ棄却シタルモノヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ其他ノ判決ヲ記入ス「ハ」ノ小欄ニハ控訴ノ取下ヲ爲シタルモノ等ヲ記入ス（刑事訴訟法第二百四十六條）

一 第八欄ニハ記錄ヲ原裁判所ニ返還スルトキ其廳名及月日ヲ記入ス（刑事訴訟法第二百四十九條）〕

明治何年

共助事件簿

某地方裁判所

檢事局

キシ

第十號（規則第十八條）

毎年進行番號	囑託ノ月日	囑託官廳	事件ノ標目	囑託官廳ノ事務番號	囑託ノ要旨	命令ノ要旨	終局ノ爲記錄ヲ遞付シタル官廳ノ名及其月日	其他ノ終局方法及其月日	備考
一	二	三	四	五	六	七	八	九	
一	二三 一ノ四	浦和地方檢事局	竊盜	二三(ち) 二二	某勾引事件	年月日某警察署ヘ勾引方ヲ指揮ス		被告人ヲ遞傳護送ス一ノ七	
二	一ノ一〇	横濱地方檢事局	持兇器強盜	二三(と) 五五	某所在搜査ノ件	年月日某警察署ヘ所在搜査方ヲ指揮ス	横濱 一ノ二〇		

〔一第四欄「ロ」ノ小欄ノ事務番號トハ規則第五條ニ規定スルモノヲ謂フ〕

區裁判所書記規則

目錄

第一節　通則

第一條　書記課組織
第二條　外部ノ整理
第三條　應接時間、受付室、受付函
第四條　職務總則
第五條　到來書類
第六條　記錄ノ調製、記錄號
第七條　順次番號、事務番號
第八條　受領日記
第九條　記錄帳簿
第十條　庶務記錄帳簿
第十一條　共助事件簿
第十二條　書記ノ獨立ニテ爲スヘキ事務
第十三條　書類ノ差出
第十四條　事務取扱中ノ書類ノ整理
第十五條　命令ノ實行
第十六條　定期簿
第十七條　裁判順序表
第十八條　掲示簿

第十九條　送達
第二十條　執達吏ニ委任ノ紹介
第二十一條　執達吏ト事務交通、執達委任簿
第二十二條　支部事件
第二節　民事
第二十三條　和解事件簿
第二十四條　督促事件簿
第二十五條　民事事件簿、民事被告人見出簿
第二十六條　執行事件簿
第二十七條　民事期日簿
第三節　刑事
第二十八條　內務事務ノ區域
第二十九條　執行、送達
第三十條　刑事期日簿
第四節　附則
第三十一條第三十二條　附則

區裁判所書記規則

第一節　通則

第一條　區裁判所書記課（裁判所構成法第八條）ハ必要アルニ從ヒ之ヲ數部ニ分ツコトヲ得

書記ハ互ニ代理ヲ爲シ又事務繁多ナルトキハ相補助スヘシ

書記課ニ雇員ヲ置キタルトキハ淨書、謄寫及記錄編綴ニ從事セシメ其他書記ノ事務ヲ補助セシムルコトヲ得

第二條　裁判所ノ公廷及各事務室ニハ其入口ニ番號及名稱ヲ揭示スヘシ

廣大ナル裁判所ニ於テハ前項ノ番號及名稱ヲ附シタル圖面ヲ裁判所內適宜ノ場所ニ揭示スヘシ

各事務室ニハ室內備置ノ什器目錄ヲ揭ケヘシ

書棚並ニ書類入ノ外ニハ現ニ取扱中ノ事務ニ屬スル記錄及書類ニ限リ之ヲ置クコトヲ得

書棚ニハ見出札ヲ附シ明カニ記錄及書類ノ區別ヲ示スヘシ

第三條　書記ハ休暇日ヲ除ク外每日少クモ二時間應接時間ヲ存シ且之ヲ裁判所內適宜ノ場所ニ揭示スヘシ

書記ノ應接時間ハ地方裁判所長之ヲ定ム

書記課組織

外部ノ整理

應接時間

受付室

受付函

事務繁多ナル區裁判所ニハ書類ノ受付其他應接ノ爲別ニ一室ヲ設クルコトヲ得

應接時間外ニ書類ヲ差出ス者ニ便スル爲必要ナルトキハ裁判所内便宜ノ場所ニ書類受付函ヲ置キ毎日二回以上廷丁ヲシテ開函セシムヘシ但開函時限ハ函面ニ表示スヘシ

職務總則

第四條　書記ハ調書、公判始末書、文書（判事ノ命ニ依リ起草スル文書）正本、抄本、謄本、認證書、判決確定證明書及執行文ヲ作リ記錄及書類ノ整頓、保存ヲ掌リ帳簿及表ヲ作リ其他事務取扱上必要ナル事務ニ服スヘシ

監督書記ハ主トシテ司法行政ニ係ル事務ヲ執リ且統計ニ係ル事務ヲ總括スヘシ

監督書記差支ノ場合ニ於テハ監督判事ノ指定シタル書記其職務ヲ行フ

到來書類

第五條　裁判所ニ到來ノ封書ハ其宛名ニ從ヒ主務ノ判事若ハ書記之ヲ開披ス

ハ監督判事之ヲ開披シ書記課宛ノモノハ監督書記之ヲ開披ス

書類ヲ受付クルトキハ書記其外面ノ見易キ所ニ年月日ヲ記入シ附屬ノ書類アルトキハ其數ヲ附記スヘシ

若シ書類受付ノ當日主務書記ノ手ニ達セサルトキハ主務書記ハ更ニ其受付ノ年月日ヲ記スヘシ

記錄ノ調製

第六條　同一ノ民事、刑事ノ事件ニ關スル書類ニ付記錄ヲ作ル又同種ノ事件ニ關スル書類ハ類聚記錄又ハ庶務記錄ト爲スコトヲ得

各記錄ニハ記錄號ヲ附ス記錄號ハ各事件簿ノ符號文字（通常訴訟ナレハ「ハ」證書訴訟ナレハ「ニ」ト稱スルノ類）及進行番號ニ事務年度ノ年數ヲ加ヘ之ヲ作ル（例ヘハ通常訴訟ニシテ二十三年第二號ナレハ「二三(ハ)二」ト記シ督促事件ニシテ二十三年第二號ナレハ「二三(ロ)二」ト記スルノ類ノ如シ）

庶務記錄ノ記錄號ハ庶務記錄帳簿ノ節ノ數字及其番號ヲ以テ之ヲ作ル（例ヘハ第二節ノ(ロ)ノ第十六號ナレハ「弐(ロ)一六」ト記スルノ類ノ如シ）

記錄ハ每葉丁數ヲ附ス其表紙ハ厚紙ヲ用ユヘシ控訴院長ハ事件ノ種類ニ依リ定式ノ表紙ヲ用ヒサルコトヲ定メ且通常ノ紙ノ表紙ヲ用ユルコトヲ定ムルヲ得

表紙ニハ裁判所及事件ノ名、民事ノ原被告人又ハ刑事ノ被告人ノ氏名幷ニ記錄號ヲ記シ勾留事件ハ勾留事件タルコト其他特別ニ至急ヲ要スル事件ハ至急事件タルコトヲ記スヘシ

記錄ヲ既濟トシテ藏置スルコトハ事件終局ノトキ判事ノ命令ニ從ヒ之ヲ爲ス

記錄ノ表紙ニハ既濟トシテ藏置スル年度及保存ノ終ル年ヲ記スヘシ

順次番號

事務番號

類聚記錄ハ一年間ヲ一冊又ハ數冊ニ編綴シ其表紙ニハ單ニ事件ノ名、既濟トシテ藏置スル年度及保存ノ終ル年ヲ記スルコトヲ得

第七條　同一ノ記錄ニ屬スル書類ハ其記錄ノ初メニ番號目錄紙ヲ附シ書類ノ順次番號及其日附ヲ記ス同一ノ事務年間ノ書類ニハ其年數ヲ題記シ次ニ順次番號及日附ヲ記スヘシ但送達證書及交

付證書ニ付テハ判事ノ命令アリタルトキノミ之ヲ登記ス

順次番號ハ記錄ニ於ケル書類ノ前後ヲ定ム

附屬書類ニハ番號ヲ附セス必要ナルトキハ或ル番號ノ書類ニ附屬スルモノナルコトヲ記ス（例ヘハ「一ノ二」ト記シ第二號書類ニ附屬ノ旨ヲ示スノ類ノ如シ）

番號目錄ニ順次番號及日附ヲ登記シタル後其順次番號及記錄號ヲ各書類ノ第一丁ノ右ニ併記シ事務番號ト爲ス

記錄號ハ當事者ノ差出ス書類ニモ之ヲ用ヒシムルコトヲ得

處分濟ノ書類ヲ記錄ニ綴込又ハ之ヲ他ニ遞付スルトキハ目錄ノ番號ヲ抹消シ且書類ヲ他ニ遞付スル場合ニ於テハ其遞付先ヲ備考ノ欄ニ記スヘシ

和解事件又ハ督促事件ニ屬スル書類ニハ順次番號ヲ附セス單ニ記錄號ヲ附ス

第八條　調製シタル記錄ニ附スヘキカ又ハ其書類ヲ以テ新ニ記錄ヲ調製スヘキカ又ハ何レノ帳簿ニ記スヘキカノ疑アル書類ハ書記之ヲ受領日記ニ記シ假ニ日記ノ符號文字及進行番號ヲ附スヘシ（例ヘハ「（シリ）ノ一」ト記スルノ類ノ如シ）

受領日記ハ左ノ數欄ニ分ツ

一　毎年進行番號

二　到來ノ月日

三　事件ノ標目

四　書類ノ遞付先

五　書類ヲ附シタル記錄

記錄帳簿

第九條　記錄ハ帳簿（即チ事件簿）ニ登記シ且其登記ノ順序ニ從ヒ之ヲ保存ス

帳簿ハ一年一冊ト爲スヲ例トス然レトモ事務年度終リタル後前年度ノ分ト合綴スルハ便宜ニ任ス」

一年間帳簿ニ記載シタル結果ハ年末ニ至リ集合シテ事務一覽表ニ掲ケヘシ新タニ調製スル帳簿ニ記錄ヲ移記スルコトハ（此場合ニハ從來ノ記錄號ヲ附スヘシ）第三年ノ初メニ於テ尚ホ未濟ナルトキニ限リ之ヲ爲ス民事訴訟記錄ニ在テハ第四年ノ初メ未濟ナルトキニ限リ之ヲ爲ス前年ノ帳簿ニ月日ヲ記入スルトキハ其記入ノ年ヲ附記スヘシ

第十條　庶務記錄ノ帳簿ハ書式第一號ニ從ヒ數節ニ分チ之ヲ記ス

庶務記錄帳簿ハ事件ノ種類ニ從ヒ數節ニ分チ之ヲ記ス

庶務記錄トハ司法ノ行政及監督事務ニ屬スル記錄其他特別ノ規程ニ係ル帳簿ニ載スヘカラサル一切ノ記錄ヲ謂フ

第十一條　區裁判所及書記課ニ宛タル他ノ官廳ノ囑託ニ關スル書類ハ書式第二號ニ從ヒ共助事件簿ニ

庶務記錄帳簿第一號

共助事件簿第二號

簿ニ記スヘシ

記錄號ハ帳簿ノ進行番號、「キシ」ノ符合文字ニ事務年度ノ年數ヲ加ヘ之ヲ作ル（例ヘハ「二三（キシ）一一」ト記スルノ類ノ如シ）

書記ノ獨立ニテ爲スヘキ事務

第十二條　書記ノ獨立ニテ終局シ得ヘキ申立ハ假令裁判所宛ナルモ書記之ヲ終局ス其申立不當ナルトキハ之ヲ却下シ文書ニテ申立ヲ爲シタルトキハ其旨ヲ文書ノ餘白ニ記入シテ却下スヘシ

受託ノ裁判所又ハ書記課ニテ成立チ囑託官廳ニ遞送セサル書類ハ類聚記錄ト爲スヘシ

書記ヨリ他ノ官廳ニ爲スヘキ通知又ハ囑託ハ原本（一定ノ用紙ヲ用ユ）ヲ以テスルヲ例トス此場合ニ於テハ其文意ヲ關係書類ニ附記シ關係書類ナキモノハ帳簿ニ登記スヘシ但原案ノ殘置ヲ要スルモノハ其事件ノ記錄ニ附ス

書類ノ差出

調書、呼出狀、召喚狀、勾引狀、勾留狀、送達狀、公判始末書、關席裁判告知書、正本、抄本、謄本、證明書及認證書ハ官及氏名ヲ記シ捺印スヘシ

書ハ官及氏名ヲ記シ捺印ノ上裁判所ノ印ヲ捺スヘシ其他書記ノ獨立ニテ作ルヘキ文

第十三條　書記ノ獨立ニテ終局スヘカラサル到來書類ハ記錄チ添附シ判事ニ差出シ命令ヲ待ツヘシ（判事ノ命令ハ書類ノ餘白ニ畧記ス）送達證書ハ命令アルトキ又ハ書記其職務上ノ調査ニ依リ正式ノ送達ナカリシコトヲ見出シタルトキノミ之ヲ差出スヘシ

事務取扱中ノ書類ノ整理

第十四條　事務取扱中ノ書類ハ事務取扱上經過ノ程度ニ從ヒ之ヲ區別スル例ヘハ

一　事務番號ヲ附スヘキ書類（新事件）

二　判事決定又ハ命令ヲナスカ爲ニ差出スヘキ書類

三　寫字生、執達吏等ニ交付スヘキ書類

四　既濟ノ書類

命令ノ實行

事務取扱中ノ書類ハ之ニ屬スル記錄又ハ關係書類ヲ添附ス特別ノ原因殊ニ記錄及其附屬書類ノ大部ナルカ爲メニ分離ヲ要スルトキハ合併スルヲ得ルニ至ル迄各別ニ之ヲ保存ス

第十五條　判事ヨリ起草ヲ命セラレタル文書ハ解シ易キ官用ノ文章ヲ以テ之ヲ記シ其文書ニハ事件ノ標目及事務番號ヲ附記シ且欄外ニ取扱ノ種類（例ヘハ郵便ニ付スル送達、郵便ニ依ル送達、書留郵便、執達吏ニ依ル送達、無手數料送達、送付等）ヲ記シ之ニ從ヒ淨書及謄本ヲ作ル此場合ニ於テ執達吏ハ其受取ルヘキ書類ニ依リ何人ノ委任ニ依リ何人ニ送達スヘキカ又如何ナル手續ニ依リ送達スヘキカ又至急ヲ要スルヤ否ヲ知ルヘキモノトス

右ニ付書記ハ書類ニ必要ナル附記ヲ爲スヘシ送達及交付ノ種類ハ畧語ヲ以テ記スルコトヲ得

官廳ヘノ回答書ニハ其官廳ノ事務番號ヲ記スヘシ書式ヲ用ユヘキトキ之ヲ命令ニ掲ケサルトキハ書記其書式ヲ記スルコトヲ要ス（例ヘハ書式「二五ニ」ト記シ書式第二十五號ニ從フヘキコトヲ示スノ類ノ如シ）判事ノ命令ニ依リ書記ノ作ルヘキ文書ハ調査ノ爲判事ニ差出スヘシ

記錄遞付ノトキ判事ノ特ニ命令アルトキニ限リ其謄本ヲ殘シ置クヘシ

書記ハ判事若ハ書記ノ署名シ又ハ認證スヘキ淨書ヲ原本ト校合シ且判事ノ署名スヘキモノハ之ニ檢印シテ誤謬ナキコトヲ證スヘシ

第三號 定期簿

第十六條　書記ハ職務上注意スヘキ期日（民事ノ口頭辯論、刑事ノ公判ノ爲ノ期日ヲ除ク）及期間ノ爲書式第三號ニ從ヒ定期簿ヲ作ルヘシ

進行番號ハ登記ヲ爲ス日毎ニ數字ノ一ヲ以テ始ム

定期簿ハ一年中日々記入スヘキ事務ノ多少ヲ測リ紙中ニ餘白ヲ存シテ豫メ月日ヲ配記スヘシ

定期簿ハ後日ノ事務ヲ命令又ハ決定ノアリタル日ニ記スルモノナリ（例ヘハ一月十日ニ判事法律上共助ノ爲某證人ヲ一月二十日ニ呼出スノ命令ヲ爲ストキハ書記一定ノ書式ニ依リ之ヲ實行スル際此定期簿ノ一月二十日ノ部ニ之ヲ記入シ又二月一日ニ十四日間ニ某ノ事ヲ爲スヘキ旨ヲ決定シタルトキハ二月十五日ノ部ニ之ヲ記入スルノ類ノ如シ）

記錄ハ判事ヨリ他ノ命令ナキトキハ期日ヨリ二十四時間前ニ差出スヘシ

記錄ヲ判事ニ差出シタルトキハ進行番號ヲ抹消シ之ヲ表示スヘシ

裁判順序表

第十七條　裁判期日ニハ當日開廷スヘキ事件ノ順序表ヲ作リ裁判所內適宜ノ場所ニ掲示スヘシ

順序表ニハ每日進行番號、記錄號、民事ノ原被告人又ハ刑事ノ被告人ノ氏名及期日ノ時刻ヲ記スヘシ

掲示簿

第十八條　法律上掲示ヲ爲スヘキ事件即チ公示催告（民事訴訟法第七百六十四條以下）公示送達（民事訴訟法第百五十六條以下）强制競賣（民事訴訟法第六百六十一條）等ニ付テハ書式第四號ニ從ヒ掲示簿ヲ作ル

掲示書類ニハ貼附、除去ノ際「裁判所掲示板ヨリ除去ス」トノ旨ヲ記シ其他掲示ノ場所、年月日、官氏名ヲ記シ捺印スヘシ

送達

第十九條　書記ハ遲滯ノ恐レアルトキ又ハ費用ヲ節減シ得ヘキトキハ郵便ニ依リ送達ヲ爲サシムヘキモノトス（民事訴訟法第百三十六條第三項第四項、刑事訴訟法第十九條）但特ニ執達吏ヲシテ送達ヲ要スヘシト思料スルモノハ此限ニ在ラス

送達證書ヲ要セサル送達（法律ノ規程ニ拘ハラサル送達）ハ郵便ヲ以テ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ廷丁ヲシテ郵送シタルコトヲ證セシムヘシ

公示送達ハ前條ノ手續ニ從ヒ且之ヲ證スヘシ

執達吏ニ委任ノ紹介

第二十條　書記ハ裁判所ニ繫屬シタル事件ニ付テハ民事、刑事ノ訴訟法ニ依リ獨立ニテ又ハ原被告ノ求ニ依リ執達吏ニ送達ヲ委任スルノ義務アリ

執達吏ト事務交通

書記ハ原被告ノ求ニ依リ執行吏ニ強制執行ヲ委任スルノ義務アリ

執達委任簿

第五號

第二十一條　書記ト執達吏トノ委任授受ハ可成口頭ニテ之ヲ爲スヘシ

直チニ執行スヘキ委任ハ執達吏ニ送付ス其他ノ委任ハ閉鎖スヘキ書函ニ書類ヲ差入ルヽヲ以テ之ヲ爲ス書函ノ鍵ハ書記執達吏各一個ヲ持ツモノトス

書函ハ委任ニ關スル書類ヲ差入ルヽトキ相當ノ區別ヲ爲シ置クヘシ（例ヘハ送達、送付、書記ハ委任ニ關スル書類ヲ書函ニ差入ルヽトキ相當ノ區別ヲ爲書記課中ニ之ヲ設ク

支部事件

第二十二條　區裁判所ニ支部ヲ設ケタルトキハ委任ノ取扱ニ付細報ヲ爲シ新委任執達吏ハ定リタル時間ニ書記課ニ出頭シ且求アリタルトキハ委任ノ取扱ニ付細報ヲ爲シ新委任ニ付遺漏不完全ノコトアルトキハ質問ヲ爲スヘシ

書記ト執達吏トノ委任授受ニ付テハ書面ヲ以テ證スルヲ要セス若シ之ヲ必要トスルトキハ書式第五號ニ從ヒ執達委任簿ヲ作ルヘシ

委任授受ニ委任簿ヲ用ユルトキハ委任書類ニ其帳簿ヲ添ヘ書函ニ差入ルヘシ

第二十二條　區裁判所ニ支部ヲ設ケタルトキ其書記ノ事務ニ付テハ地方裁判所書記規則ヲ適用ス

第二節　民事

和解事件簿

第六號

第二十三條　和解事件（民事訴訟法第三百八十一條第一項）ノ帳簿ハ書式第六號ニ從ヒ之ヲ作ル

第三欄ノ期日ハ先ツ定期簿ニ記シタルモノヲ現期日ニ至テ之ヲ記入ス

和解調書ハ和解調ヒタルトキノミ之ヲ作ル（民事訴訟法第三百八十一條第二項）

和解調書ハ和解調書記錄ニ編入シ其他ノ書類ハ別ニ類聚記錄ト爲ス

第四欄「ハ」ノ小欄ニハ調書記錄ノ冊數丁數ヲ記ス

執行正本ノ付與及之ニ付生スル費用ハ和解調書ニノミ之ヲ記ス

督促事件簿

第七號

第二十四條　督促事件（民事訴訟法第三百九十三條）又ハ執行命令（民事訴訟法第三百八十四條）ニ付書記ハ調書ヲ作ルヲ要セス直ニ命令書（一定ノ用紙ヲ用ユ）ヲ作リ異議ハ直ニ債權者ニ通知（民事訴訟法第三百九十一條）シ若シ異議申立ノ證ヲ求ムルトキハ之ヲ債務者ニ與フヘシ但書記其申請申立ヲ不當ナリトスルモ當事者尚ホ主張スルトキハ其調書ヲ作ルヘシ支拂命令、執行命令及其申請却下ニ付テハ謄本ヲ留ルヲ要セス單ニ事件簿欄內ノ記入ニ止ム却下ハ調書ノ餘白又ハ申請書ニ判事記入ヲ爲シテ之ヲ下付スルヲ例トス

督促事件ニ屬スル書類ハ類聚記錄ト爲ス

却下後再呈出ノ申請ハ新事件トシテ番號ヲ附ス

第三欄ニハ請求ノ價額ヲ記ス若シ其一部分ノミニ付申請ヲ許容シタル場合（民事訴訟法第三百八十五條第二項）ニハ其許容シタル價額ヲ記スヘシ

第五欄ノ「ロ」及「ハ」ノ小欄ニハ日附ノ外書記捺印ヲ爲シ責任ヲ明ニスヘシ若シ債務者數人アルトキハ異議申立人及執行命令ヲ受ケタル者ノ氏名ヲ備考ノ欄ニ記スヘシ

異議ノ申立アリテ訴訟ト爲リタルトキ（民事訴訟法第三百八十九條第三百九十四條）民事事件簿ニ記入シ故障ノ場合ニ於テハ其記錄號ヲ第六欄ニ記ス是レ民事訴訟法第五百十九條第一項、第五百二十三條、第五百六十一條第一項ニ從ヒ執行文又ハ執行命令第二ノ正本ヲ賦與スヘキヤ否ヲ記錄ニ依リ調査スルニ便スルナリ

執行文又ハ執行命令第二ノ正本ノ賦與ヲ爲シタルトキハ備考ノ欄ニ之ヲ記入シ書記捺印スヘシ

第廿五條　民事事件ノ帳簿ハ書式第八號ニ從ヒ之ヲ作ル（和解、督促手續及執行裁判所トシテ管轄スルモノヲ除ク）

第一欄ニハ訴ヲ提起シタル月日ヲ記ス

第二欄ニハ權利拘束ト爲リタル月日（民事訴訟法第百九十五條）ヲ記シ和解ヲ經タルモノナル

トキハ口頭辯論ノ月日ヲ記シ（民事訴訟法第三百八十一條）督促手續ヲ經タルモノナルトキハ支拂命令ヲ送達シタル月日ヲ記シ（民事訴訟法第三百八十七條）豫メ期日ノ指定ナクシテ辯論ヲ爲ス場合（民事訴訟法第三百七十八條）ニハ其調書ノ日附ヲ記ス

第六欄ニ記スヘキ進行番號ハ各小欄ニ付數字ノ一ヲ以テ始ム其番號ハ記錄號ヲ作ル爲ニ用ユル（例ヘハ二十三年ニ於テ既ニ同種ノ事件十一件裁判所ニ繫屬シタルトキハ新タニ繫屬スル證書訴訟ハ「一三(二)一二」下記スルノ類ノ如シ）

禁治產ノ決定アリタルトキハ第六欄「ハ」ノ小欄ノ番號ノ側ニ畫線シ見出ニ便スヘシ

強制執行處分ニ因リ義務ヲ辨濟スル資力ナキ債務者ニ對シ家資分散者タルノ宣告ヲ爲シタルトキハ（家資分散法第一條）第六條「ト」ノ小欄ニ記シ且備考ノ欄ニ之ヲ表示スヘシ

裁判所ニ繫屬シタル訴訟外ノ申立（民事訴訟法第三百六十六條第三項、第九十三條等）又ハ本案ト共ニ裁判セサル假差押、假處分（民事訴訟法第七百三十九條第七百六十一條）ニ關スル書類ハ類聚記錄ト爲ス

通常訴訟、證書訴訟及爲替訴訟ニ付テハ五ケ年ヲ包括スル民事被告人見出簿ヲ作ル見出簿ハ被告ノ氏ノ頭字ヲイロハ分ト爲シ年々ノ件數ヲ概定シ同字ニ屬スヘキ氏ノ多少ヲ測リ豫メ餘白ヲ存シイロハ文字ヲ配記スヘシ

見出簿ニハ別ニ二欄ヲ設ケ原告ノ氏名及記錄號ヲ記スヘシ

判決確定ノ證明書（民事訴訟法第四百九十九條）及執行力アル正本ヲ求ムルノ申立（民事訴訟法第五百十六條）幷ニ強制執行ニ關スル申立（區裁判所執行裁判所トシテ管轄スル場合ヲ除ク）ニ付テノ書類ハ訴訟記錄ニ附ス

一訴訟トシテ提起シタル數個ノ請求又ハ被告ノ反訴ヲ分離シテ各別ノ訴訟ト爲シタルトキハ（民事訴訟法第百十八條）一ハ舊番號ニ依リ他ハ新番號ヲ附ス

左ノ諸件ニハ各新番號ヲ附ス

一證書訴訟ニ於テ被告ニ擔保シタル權利行使ニ付テノ訴訟手續（民事訴訟法第四百九十二條）

二公示催告ノ申立（民事訴訟法第七百六十五條）數個ノ公示催告ヲ合併シタル場合亦同シ（民事訴訟法第七百七十六條）

三假差押（民事訴訟法第七百四十條）假處分（民事訴訟法第七百五十六條）ノ申請

禁治產事件ニ付事務一覽表ニ掲クヘキ事項ハ備考ノ欄ニ記スヘシ

上訴アリタルトキハ其上訴アリタルコト及其結果又訴訟上救助ニ係ルモノハ其旨ヲ備考ノ欄ニ記スヘシ又和解、督促手續ヨリ本訴ト爲リタルモノハ前記錄號ヲ備考ノ欄ニ記スヘシ

第二十六條　執行裁判所トシテ任カセラレタル執行行爲ノ處分（即配當、管理等）及其行爲ノ共力

（民事訴訟法第五百四十三條）ハ書式第九號執行事件簿ニ記ス其他金錢要求ニ因ル強制執行ノ爲メニアラスシテ申立ラレタル一切ノ不動產競賣（民法財產編第三十九條民法擔保編第二百七十八條）モ亦此事件簿ニ記ス

既ニ裁判所ニ繫屬シタル強制執行又ハ強制管理ニ或ル債權者ノ參加スルモ此事件簿ニ記セス

假差押、假處分ノ實行ニ付假差押裁判所其資格ヲ以テ終局スヘキ申立モ亦前項ニ同シ

不動產、船舶ノ競賣、管理及配當手續ニ付テハ記錄ヲ作リ其他ノ申立ニ付テハ類聚記錄ヲ作ル

第二十七條　口頭辯論期日ニ付テハ書式第十號ニ從ヒ民事期日簿ヲ作ル

期日簿ハ各判事毎ニ一冊ヲ作リ一年度ノ件數事務ヲ測リ餘紙ヲ存シテ豫メ月日ヲ配記スヘシ

第一欄ノ進行番號ハ毎日數字ノ一ヲ以テ始ム第七欄ニハ一年度ヲ通シテ對審ノ數ヲ記ス但裁判ヲ待タス拋棄、認諾ヲ以テ其期日ヲ終局シタルトキハ此欄ニ記セス

期日ノ指定アリタルトキハ書記ハ第一欄乃至第六欄ノ記入ヲ爲シ代理人アレハ亦其氏名ヲ記スヘシ

上訴ニ關シ終局判決ト看做スヘキ中間判決ハ之ヲ終局判決トシテ記ス（民事訴訟法第二百七條、第三百二十八條、第四百九十一條）

第八欄ノ「イ」乃至「ヘ」ノ小欄ニハ請求ノ全部若ハ一部又ハ攻擊、防禦ノ方法ニ付口頭辯論ノ結

果ニ屬スルモノヲ記ス故ニ同一事件ニ付數小欄ニ記スヘキコト少カラス

第八欄第九欄ノ記入ハ記錄號ニ用ヒタル符號文字ヲ用ユ判事此記入ヲ爲サヽルトキハ書記之ヲ爲ス

豫メ期日ノ指定ナクシテ口頭辯論ヲ開クトキモ（民事訴訟法第三百七十八條）亦其事件ヲ此期日簿ニ記スヘシ

第三節　刑事

第二十八條　記錄ノ調製及保存、刑事ニ於ケル記錄帳簿ノ取扱ハ以下ノ規則ニ從ヒ區裁判所書記ノ主掌ニ屬セサルモノハ檢事局書記之ヲ爲ス

裁判所書記ハ記錄ノ差出ニ付檢事ノ命令ニ從フヘシ

記錄裁判所ニ在ル間ハ其記錄及之ニ附スヘキ到來書類ノ取扱ハ裁判所書記ニ屬ス

第二十九條　裁判所ノ裁判ヲ實行スルニ付裁判所書記ノ事務ハ通則及左ノ規則ニ從フ

公判ニ於テ判事ノ命令ニ依リ爲スヘキ呼出及職權ヲ以テ爲スヘキ送達ハ書記獨立シテ之ヲ爲ス

執行ニ付檢事ノ指揮ヲ要スル他ノ裁判ハ檢事局ニ交付ス

判事ノ署名ヲ必要トスル書類ハ淨書ヲ添ヘ差出スヘシ

第三十條　公判期日ニ付テハ書式第十一號ニ從ヒ刑事期日簿ヲ作ル

期日簿ハ各判事毎ニ一冊ヲ作リ一年度ノ件數事務ヲ測リ餘紙ヲ存シテ豫メ月日ヲ配記スヘシ

第一欄ノ進行番號ハ毎日數字ノ一ヲ以テ始ム

期日ノ指定アリタルトキハ書記ハ第一欄乃至第七欄ノ記入ヲ爲スヘシ

公判開廷ノ時間中ハ期日簿ヲ判事ニ差出シ置クヘキモノトス判事第八欄第九欄ノ記入ヲ爲サヽレハ閉廷ノ後書記之ヲ爲スヘシ

第八欄ニハ記錄號ニ用ヒタル符號文字ヲ以テ結果ヲ示スヘシ

第四節　附則

第三十一條　會計事務、豎記事務及民事刑事ノ統計表調製ニ付テハ現行ノ規則又ハ後來定ムル所ノ特別ノ規則ニ從フヘシ

第三十二條　從前ノ規則ニ從ヒ終局スヘキ事件ニ付テハ帳簿ノ記載其他書記ノ事務ニ付テノ現行規則ニ從フヘシ但本規則第二十八條及區裁判所檢事局書記規則第十一條ニ揭ケタル記錄ノ調製、保存及記錄帳簿ノ取扱ニ關スル規程ハ之ヲ準酌シテ適用スヘキモノトス若シ右ノ事務區域ニ付疑アルトキハ控訴院長及檢事長之ヲ協議規定スヘキモノトス

書式（用紙美濃紙）

（書式中各欄内假設記入文字及欄外附記文字幷ニ書式ノ末尾ニ記入方ヲ記シタルモノニシテ原本中朱ナルモノハ「」及……點ヲ附ス）

書式目錄

番號	規則ノ箇條	名稱	文字符號
一	一〇	庶務記錄帳簿	
二	一一	共助事件簿	キ ノ
三	一六	定期簿	
四	一八	掲示簿	
五	二二	執達委任簿	
六	二三	和解事件簿	イ
七	二四	督促事件簿	ロ
八	二五	民事事件簿	ハ、ニ、ホ、ヘ、ト、チ、

九	二六	執行事件簿	リ、ヌ、ル、ヲ、
一〇	二七	民事期日簿	
一一	三〇	刑事期日簿	

明治何年

庶務記錄帳簿

某區裁判所

第一號（規則第十條）

［壹ノイ］［法律命令及説明］

番號	一	二							
一	二	三	四	五	六	七			
年度	明治六	、							
記錄ノ名稱	司法省訓令類聚	、、、、、、、							
冊數	二	、							
既濟年度									
保存ノ終ル年	永久								
備考									

［貳ノロ］［他官廳トノ事務交通ニ關スルモノ］

番號	一	二							
一	二	三	四	五	六	七			
年度	明治一五	、							
記錄ノ名稱	警署察往復綴	、、、、、、、、							
冊數	一	、							
既濟年度									
保存ノ終ル年									
備考									

番號	年度	記錄ノ名稱	冊數	既濟年度	保存ノ終ル年	備考
一	二	三	四	五	六	七
十	明治二〇	判事何某	何記錄何冊	二三	二九	休職

［一庶務記錄ハ數節ニ分チ之ヲ登記ス例ヘハ

第壹節　法律命令及說明

壹ノイ　法律命令ノ類聚

壹ノロ　民事訴訟ニ關スルモノ

壹ノハ　刑事訴訟ニ關スルモノ

壹ノニ　登記ニ關スルモノ

壹ノホ　供託ニ關スルモノ

壹ノヘ　訴訟費用及印紙ニ關スルモノ

壹ノト　雜

第貳節　裁判所構成及組織

貳ノイ　裁判所ノ構成組織ニ關スルモノ

貳ノロ　他官廳トノ事務交通ニ關スルモノ

貳ノハ　書記以下裁判所職員ニ關スルモノ

貳ノニ　執達吏ニ關スルモノ

貳ノホ　廳內事務室ニ關スルモノ

貳ノヘ　圖書及什器ニ關スルモノ

貳ノト　雜

第參節　身分

參ノイ　判事及試補

參ノロ　書記及雇

參ノハ　廷丁及小使

參ノニ　執達吏

参ノホ　雑

第肆節　統計表諸報告

肆ノイ　民事統計

肆ノロ　刑事統計

肆ノハ　事務一覧表

肆ノニ　雑

一第二欄ニハ記録ノ年度ヲ記ス

一第五欄ノ既済年度トハ記録ノ不用トナリタル年度ヲ謂フ

一第六欄保存ノ終ル年トハ記録ノ既済トナリタル後其保存スヘキ年度ヲ謂フ以下保存ノ終ル年ノ欄皆同シ」

明治何年

共助事件簿

キシ

某區裁判所

第二號（規則第十一條）

毎年進行番號	月日 囑託	月日 到來	受託官廳 裁判所	受託官廳 書記課	囑託官廳 名	囑託官廳 事務番號	事件ノ標目	囑託ノ要旨	終局區別及月日 記錄ノ遞付ニ依リ	終局區別及月日 他ノ方法ニ依リ	備考
一	イ 二	ロ	イ 三	ロ	イ 四	ロ	五	六	イ 七	ロ	八
一	二三 一一ノ五	二三 一一ノ六	、	、	某區裁判所	二三(ハ) 一〇一、	送達	裁判言渡書送達ノ件		二三 一一ノ七 書類送達ノ爲執達吏某ヘ	
二	一一ノ七	一一ノ九	、		某地方裁判所	二三(ち) 二〇五、	拐帶	證人某訊問ノ件	二三 一一ノ一三		

〔一此事件簿ハ判事毎ニ一冊ヲ作ル以下事件簿皆同シ

一第二欄「イ」ノ小欄ニハ囑託書ノ月日ヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ其書類ノ到來セシ月日ヲ記入ス

三

一第三欄「イ」及「ロ」ニハ裁判所ノ受託ト書記課ノ受託トヲ區別スル爲點ヲ施シ之ヲ表示ス

一第四欄「イ」ノ小欄ニハ囑託官廳ノ名ヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ囑託官廳ノ事務番號ヲ記入ス事務番號トハ規則第七條ニ規定スルモノヲ謂フ以下皆同シ

一第七欄「イ」ノ小欄ニハ記錄ノ遞付ニ依リ共助事件ノ終局シタル月日ヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ記錄ヲ遞付セスシテ終局スル場合（例ヘハ送達ノ囑託ヲ受ケタル書類ヲ執達吏ニ渡シ終局スルノ類ノ如シ）其月日ト事由トヲ記入ス〕

第三號（規則第十六條）

明治何年

定期簿

某區裁判所

［何月何日］

期日間

一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三
每日進行番號	記錄號	書類ノ順次番號	事件ノ目標	期日ノ時刻	判事ノ氏	調書又ハ終局書類ノ順次番號及備考	每日進行番號	記錄號	命令書類ノ順次番號	命令事件ノ目標	命令ノ年月日	終局書類又ハ取扱書類ノ番號	備考
一	一	二三	何某 強制執行	午前 九	某	五	一		一	二三 某ヨリ 二ノ 二〇 某ニ對ス	三ノ 二五 某禁治 産	一〇	
	二	二三 (ヲ) 二	甲ヨリ 乙ニ對ス	午後 一	某	六 二			二			一五	

［一此定期簿ハ判事毎ニ一冊ヲ作ル

一此定期簿ニハ民事ノ口頭辯論刑事ノ公判ヲ除ク外一切ノ期日期間ヲ記ス

一第一欄第八欄ノ每日進行番號ハ一日ニ取扱フ事件ノ數ヲ見ルモノニシテ取扱事件ノ順序ニ從ヒ期日、期間每ニ數ヲ起シ順次數ヲ逐フテ記入ス以下每日進行番號ノ欄皆同シ

一第三欄ニハ判事期日ヲ定ムルノ命令ヲ記シタル書類ノ順次番號ヲ記入ス此番號ハ規則第七條ノ番號ナリ

一第七欄ニハ期日ニ作リタル調書若ハ第三欄ノ書類ニ記スル命令ニ依リ成立チタル書類等ノ順次番號ヲ記入ス若シ期日前事件結了シタルトキハ其事由ヲ記入シ期日ニ處分ヲ要セサルコヲ表ス

一第十欄「イ」ノ小欄ニ記入スヘキ番號ハ第三欄ニ同シ「ロ」ノ小欄ニ記入スヘキ年月日ハ判事ノ命令ヲ爲シタル年月日トス

一第十二欄ニハ第十欄ノ書類ニ記スル命令ニ依リ成立チタル書類等ノ順次番號ヲ記入ス別ニ成立ツ書類ナキトキハ第十欄ノ書類ノ番號ヲ記入ス若シ期間前ニ事件結了シタルトキハ其事由ヲ第十三欄ニ記入シ期間ニ處分ヲ要セサルコヲ表ス」

明治何年

掲示簿

某區裁判所

第四號（規則第十八條）

每年進行番號	書類ノ名	事務番號	月日 掲示	月日 期間ノ滿了	月日 除去	備考
一	二	三	四			五
一	公示催告	二(ハ)三 一二、	二三 二ノ五	二三 五ノ五	二三 五ノ五	
二	公示送達	二(ハ)三 一三、	五ノ一三	五ノ二九	五ノ二九	何年何月何日ノ決定ニ依リ

明治何年

執達吏委任簿

某區裁判所

第五號（規則第二十一條）

三十六

每日進行番號	一				二			
官ノ委任	交付ノ月日	二三ノ五㊞			二三ノ五㊞			
	記錄號	二三八			二三(ハ)五二九			
	當事者又ハ刑事被告人ノ氏名	甲ヨリ乙ニ對ス			何某			
	返納月日	二三ノ一三			二三ノ一三			
每日進行番號	一				二			
當事者ノ委任	交付ノ月日	二三ノ五㊞			二三ノ五㊞			
	記錄號	二三(ハ)一			二三(ロ)一			
	當事者ノ氏名	丙ヨリ丁ニ對ス			戊ヨリ己ニ對ス			
	返納月日	二三ノ一〇			二三ノ一〇			

三十七

〔一〕此委任簿ハ執達吏毎ニ一冊ヲ作ル

一第二欄第七欄ニハ書記月日ヲ記入シ執達吏領收ノ證トシテ之ニ捺印ス

一第四欄ニハ民事訴訟及非訟事件ナレハ當事者ノ氏名ヲ記入シ刑事ナレハ被告人ノ氏名ヲ記ス

一第五欄第十欄ニハ送達證書ノ正本ヲ書記課ニ返納シタルトキ又ハ交付證書ヲ書記課ニ差出シタルトキ書記其月日ヲ記入ス〕

第六號（規則第廿三條）

明治何年

和解事件簿

イ

某區裁判所

三

毎年進行番號	氏名身分職業住所	期日ノ月日	期日ノ結果	目的物	費用ノ計算	備考
一	申立人	二	三	四	五	六	七
	住所身分職業 何某	二三ノ一〇	出席 申立人 / 相手人 / 和解 調 / 不調	五〇圓		二三(ハ)二〇
二	住所身分職業 何某	二ノ一五	出席 / 相手人 / 和解 調 / 不調	九〇圓		
三	住所身分職業 何某	三ノ一三	出席 / 相手人 / 和解 調 / 不調	二〇圓		

毎年進行番號	氏名身分職業住所	期日ノ月日	期日ノ結果	目的物	費用ノ計算	備考
一	申立人	二	三	四	五	六	七
	住所身分職業 何某	二三ノ一〇	出席 申立人 / 相手人 / 和解 調 / 不調	五〇圓		二三(ハ)二〇
二	住所身分職業 何某	二ノ一五	出席 / 相手人 / 和解 調 / 不調	九〇圓		
三	住所身分職業 何某	三ノ一三	出席 / 相手人 / 和解 調 / 不調	二〇圓		

一第一欄ニハ毎年ノ進行番號ヲ記シ民事訴訟ト爲ルトキハ其進行番號ノ側ニ畫線シ且備考ノ欄ニ其訴訟ノ記錄號ヲ記入ス

一第四欄「イ」及「ロ」ノ小欄ニハ申立人及相手人出席シタルトキハ斜線ヲ施シ闕席シタルトキハ横線ヲ施シ之ヲ區別ス

「ハ」ノ小欄ニハ和解調ヒタルトキハ和解調書記錄ノ冊數及丁數ヲ記シ「ニ」ノ小欄ニハ和解不調ノトキ横線ヲ施ス

一第六欄ニハ和解ニ付要シタル各種ノ費用金額ヲ記入ス」

第七號（規則第廿四條）

明治何年

督促事件簿

某區裁判所

ロ

毎年進行番號	一	一	二	三		
氏名身分職業住所 債權者	イ 二	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某		
氏名身分職業住所 債務者	ロ	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某	住所身分職業 何某		
目的物	三	七〇〇圓	一〇五圓	一〇圓		
申請却下ノ月日	四					
月日 支拂命令	イ	二三 二ノ三	二ノ四	二ノ四		
月日 異議申立	ロ 五	二三 二ノ六㊞				
月日 執行命令	ハ		二三 二ノ一九㊞	二ノ一九		
故障申立ノ記錄號	六			二三(ハ)七〇		
費用ノ計算	七					
備考	八		第二ノ執行命令書ヲ債權者ニ與フ 二三年二月三〇日㊞			

〔一第四欄ニハ民事訴訟法第三百八十五條第一項ニ依リ支拂命令ヲ發スルコトノ申請ヲ却下シタルトキ其却下ノ月日ヲ記入ス

一第五欄ニハ各小欄ノ區別ニ從ヒ其事件ノ月日ヲ記入シ「ロ」及「ハ」ノ小欄ニハ月日記入ノ外書記捺印ス欄ニ餘白ナキトキハ備考ノ欄ニ記入シ捺印ス

一第六欄ニハ民事訴訟法第三百九十四條ニ依リ故障ヲ申立タルトキ規則第二十四條第六項ニ從ヒ記錄號ヲ記入ス

一第七欄ニハ督促手續ニ付要シタル各種ノ費用金額ヲ記入ス〕

第八號（規則第廿五條）

明治何年

何郡

事務ノ種類ニ依リ分チタルトキハ郡名ニ代ルニ種類ノ名稱ヲ以テス

民事事件簿

某區裁判所

ハ、ニ、ホ、ヘ、ト、チ

起訴ノ月日	權利拘束トナリタル月日	原被告ノ氏名身分職業住所又ハ現在地	訴訟代理人ノ氏名	訴訟ノ目的物	訴訟進行番號	記錄	備考
一	二	三	四	五	イ 通常訴訟 ロ 證書訴訟及爲替訴訟 ハ 禁治産 ニ 公示催告 ホ 假差押假處分 ヘ 裁判所ニ繫ルル訴訟外ノ申立	イ 既濟年度 ロ 保存ノ終ル年	八
二三 一ノ四	二三 一ノ四	住所身分職業原何某 住所身分職業被何某		買取米 引渡	一	二 三	二 九	控訴認可（認可ノ字ハ控訴判決アリシ後此ニ追記スルナリ）
一ノ四	一ノ四	住所身分職業原何某 住所身分職業被何某		禁治産	一	二 三	二 九	
一ノ五	一ノ五	住所身分職業原何某 住所身分職業被何某	原代人何某	貸金三十五圓	二	二 三	二 九	原某訴訟上救助權ヲ有ス
一ノ五	一ノ五	住所身分職業原何某 住所身分職業被何某		貸金十三圓	三	二 三	二 九	二三（ロ）一五（督促事件ヨリ本訴トナル即督促事件明治三年ノ十五號ノ畧字也）

〔一第一欄ニハ訴ヲ提起シタル月日ヲ記入ス

一第二欄ニハ權利拘束ト爲リタル月日ヲ記入ス（規則第二十五條第三項）

一第六欄ニハ某小欄ノ區別ニ從ヒ各事件ノ進行番號ヲ記入ス「ト」ノ小欄ニハ起訴前ノ證據保全ノ申請（民訴訟法第三百六十六條第三項）又ハ起訴前ノ訴訟上救助ノ申請等（民事訴訟法九十三條）ヲ記入ス

強制執行處分ニ因リ義務ヲ辨濟スル資力ナキ債務者ニ對シ家資分散者タルノ宣告ヲ爲シタルモノモ亦同欄ニ記入シ備考ノ欄ニ之ヲ表示ス

一第七欄「イ」ノ既濟年度トハ記錄ヲ既濟トシテ藏置スル年度ヲ謂フ以下既濟年度ノ欄皆同シ〕

第九號（規則第廿六條）

明治何年

執達委任簿

リ、ヌ、ル、ヲ

某區裁判所

最初書類ノ到來月日	氏名身分職業住所又ハ現在地	代理人ノ氏名	執行ノ目的物	強制執行ノ年進行番號	記錄 既濟年度	記錄 保存ノ終ル年	備考
一	二	三	四	五	六	七	
二三一ノ四	住所身分職業 何某	債權者代理人 何某	配當手續	一	二 三	二 九	
一ノ五	住所身分職業 何某		強制競賣	一	二 三	二 九	
一ノ五	住所身分職業 何某		保證ヲ立テシメンコトノ申立		二 三	二 九	
一ノ六	住所身分職業 何某		強制管理	一	二 三	二 九	

〔一此事件簿ニハ既ニ裁判所ニ繫屬シタル強制執行又ハ強制管理ニ或ル債權者ノ參加スルモ之ヲ記載セス

一第五欄ニハ其小欄ノ區別ニ從ヒ各事件ノ進行番號ヲ記入ス「イ」ノ小欄ニハ總テノ配當事件（民事訴訟法第六百二十六條以下、第六百九十一條以下、第七百十七條）「ロ」ノ小欄ニハ不動產ノ強制競

賣事件「ハ」ノ小欄ニハ不動産ノ強制管理事件「ニ」ノ小欄ニハ自餘ノ強制執行ニ關スル申立申請（民事訴訟法第六百六十四條第六百三十一條第七百十五條等）ノ進行番號ヲ記入ス

一第五欄ニハ船舶ノ強制競賣ヲモ記入ス」

明治何年

民事期日簿

某區裁判所

第十號（規則第二十七條）

［何月何日］

每日進行番號	一	二	三	四
記錄號	二三（ハ）一	二三（ニ）一〇	二三（ハ）一五	二三（ハ）二〇
原被告人ノ氏名	原何某 被何某	原何某 被何某	原何某 被何某	原何某 被何某
期日ノ時刻	午前九	午前九半	午前一〇	午前一〇半
訴訟代理人ノ氏名	原代人何某			
訴訟ノ目的物	貸金四十圓	貸金八圓	貸家明渡	宿料拾壹圓
對審ノ每年進行番號			一	
口頭辯論ノ結果 闕席判決又ハ拋棄認諾ニ基ク判決	ハ	ニ		
口頭辯論ノ結果 其他ノ終局判決			ハ	
口頭辯論ノ結果 中間判決				
口頭辯論ノ結果 和解				
口頭辯論ノ結果 證據決定				
口頭辯論ノ結果 其他ノ結果				
口頭辯論ナキ期日ノ終局				ハ
判決ノ原本ヲ領收シタル月日	二三 一ノ四	一ノ四	一ノ四	一ノ四
備考				

「一第七欄ニハ對審ヲ爲シタル事件ニ限リ記入ス關席判決、期日延期、和解ノ類ニテ對審ヲ爲サヽルモノハ之ニ記入セス

一第八欄ニハ各事件ノ口頭辯論ノ結果ヲ見ル爲ニ小欄ノ區別ニ從ヒ其事件ノ符號文字ヲ記入ス

右第八欄中「イ」ノ小欄ニハ關席判決（民事訴訟法第二百四十六條以下）拋棄、認諾ニ基ク判決（民事訴訟法第二百二十九條）ヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ「イ」ノ小欄ニ記入セサル總テノ終局判決ヲ記入シ（民事訴訟法第二百二十五條第二百二十六條第二百二十七條第二百二十八條第四百九十一條）「ハ」ノ小欄ニハ中間判決ヲ記入シ（民事訴訟法第二百二十七條）「ニ」ノ小欄ニハ和解ヲ記入シ（民事訴訟法第二百二十一條）「ホ」ノ小欄ニハ證據決定ヲ記入シ（民事訴訟法第二百七十四條）「ヘ」ノ小欄ニハ上段ノ各小欄ニ記入セサル結果ヲ記入ス即チ訴ノ取下ノ類是レナリ（民事訴訟法第百九十八條第三百七十三條）

一第九欄ニハ辯論ヲ延期シタルモノハ如キヲ記入ス（民事訴訟法第百六十九條）

一第十欄ニハ書記ニ於テ判決ノ原本ヲ領收シタル月日ヲ記入ス（民事訴訟法第二百三十七條）」

明治何年

刑事期日簿

某區裁判所

區裁判所檢事局書記規則

［何　月　何　日］

每日進行番號	記錄號	被告人ノ氏名	期日ノ時刻	一原告官氏名 二民事原告人氏名	一代人氏名 二辯護士氏名	罪名	公判ノ結果 判決	無判決	言渡ヲ受ケタル者ノ毎年進行員數 有罪	無罪	判決ノ原本ヲ領收シタル月日	備考
一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一		
一	二三(は)一五〇	何某	午前九半	一何某	一何某	脅迫	は		一			
二	二三(に)一五一	何某	午前一〇	一何某		罵詈	に			一		
三	二三(は)一四八	何某外何人	午前一〇半	一何某 二何某	二何某	賭博		は				新期日一月十五日
四	二三(に)二三六	何某	午前一一	一何某		花火	に			二		

［一第八欄ニハ公判開廷ノ結果ヲ見ル爲ニ小欄ノ區別ニ從ヒ各事件ノ符號文字ヲ記入ス但「イ」ノ小欄ニハ總テ本案ノ裁判ヲ爲シタルモノヲ記入シ「ロ」ノ小欄ニハ期日ニ判決ナカリシモノヲ記入ス（例ヘハ公判ヲ延期シタルモノヽ類ノ如シ）

一第九欄ニハ一ケ年間ニ言渡ヲ受ケタル者ノ數ヲ見ル爲ニ其進行員數ヲ記入ス（例ヘハ第二番號ノ被告人一人アレハ一ト記入シ第四番號ノ被告人一人アレハ第二番號ノ一人ト合シテ二ト記入スルノ類ノ如シ）但有罪、無罪ハ格別ニ數ヲ起シ記入ス］

目錄

第一節　通則

第一條　職務總則

第二條　到來書類

第三條　記錄ノ調製、記錄號

第四條　日記、事務番號

第五條　記錄帳簿

第六條　庶務記錄帳簿

第七條　書類ノ差出及其取扱、定期簿

第八條　命令ノ實行

第九條　執達吏トノ事務交通、執達委任簿

第二節　民事

第十條　檢事關係訴訟事件簿

第三節　刑事

第十一條　內部事務ノ區域

第十二條　手扣記錄

第十三條　前手續事件簿

第十四條　刑事々件簿

第十五條　共助事件簿

第十六條　物品受渡簿

第四節　附則

第十七條第十八條　附則

區裁判所檢事局書記規則

第一節　通則

職務總則

第一條　區裁判所檢事局書記ハ調書、文書（檢事ノ命ニ依リ起草スル文書）及謄本ヲ作リ罰金、科料、過料、訴訟費用、沒收物品及追徵金ノ徵收ヲ爲シ記錄及書類ノ整頓保存ヲ掌リ帳簿及表ヲ作リ其他事務取扱上必要ナル事務ニ服スヘシ

區裁判所檢事局ニ雇員ヲ置キタルトキハ淨書、謄寫及記錄編綴ニ從事セシメ其他書記ノ事務ヲ補助セシムルコトヲ得

到來書類

第二條　到來ノ封書ハ其宛名ニ從ヒ主務ノ檢事若ハ書記之ヲ開披ス單ニ檢事局宛ノモノハ檢事之ヲ開披ス

書類ヲ受付クルトキハ書記其外面ノ見易キ所ニ年月日ヲ記入シ附屬ノ書類アルトキハ其數ヲ附記スヘシ

記錄ノ調製記錄號

第三條　同一ノ民事、刑事ノ事件ニ關スル書類ニ付記錄ヲ作ル又同種ノ事件ニ關スル書類ハ類聚記錄又ハ庶務記錄ト爲スコトヲ得

各記錄ニハ記錄號ヲ附ス庶務記錄ノ記錄號ハ庶務記錄帳簿ノ節ノ數字及其番號ヲ以テ之ヲ作ル（例ヘハ第壹節ノイノ第一號ナレハ「壹イ一」ト記スルノ類ノ如シ）其他ノ記錄ノ記錄號ハ各事件

簿ノ符號文字及進行番號ニ事務年度ノ年數ヲ加ヘ之ヲ作ル例ヘハ「二三(は一六)」ト記ズル類ノ如シ

記錄ハ毎葉丁數ヲ附ス其表紙ハ厚紙ヲ用ユヘシ檢事長ハ或ル種類ノ事件ニ付定式ノ表紙ヲ用ヒサルコトヲ定メ且通常ノ紙ノ表紙ヲ用ユルコトヲ定ムルヲ得

表紙ニハ檢事局及事件ノ名、民事ノ原被告人又ハ刑事ノ被告人ノ氏名幷ニ記錄號ヲ記シ勾留事件ハ勾留事件タルコト其他特別ニ至急ヲ要スル事件ハ至急事件タルコトヲ記スヘシ

記錄ヲ既濟トシテ藏置スルコトハ事件終局ノトキ檢事ノ命令ニ從ヒ之ヲ爲ス

記錄ノ表紙ニハ既濟トシテ藏置スル年度及保存ノ終ル年ヲ記スヘシ

類聚記錄ハ一年間ヲ一冊又ハ數冊ニ編綴シ其表紙ニハ單ニ事件ノ名既濟トシテ藏置スル年度及保存ノ終ル年ヲ記スルコトヲ得

第四條　書類ノ受授ヲ明ラカニスル爲書式第一號ニ從ヒ日記ヲ作ル此日記ニハ總テノ書類ヲ登記ス但送達證書ハ命令アルトキノミ之ヲ登記ス附屬書類ハ特別ノ必要アルトキ又ハ錯誤ヲ防クニ必要ナルトキノミ或ル書類ニ附屬スルモノナルコトヲ記ス（例ヘハ「五六ニ」ト記シ第五十六號書類ニ附屬ノ旨ヲ示スノ類ノ如シ）

記錄號ト日記番號トヲ併記シ事務番號ト爲ス事務番號ハ各書類ノ第一丁ノ右ニ附ス

日記ノ登記ハ到來ノ日之ヲ爲スコトヲ要ス書類到來ノ日主務書記ノ手ニ達セサルトキハ第二欄ニ兩日ヲ記スヘシ

記錄ノ初メニハ番號目錄紙ヲ附スヘシ目錄紙ニハ年度ヲ題記シ次ニ日記ノ番號ヲ順次ニ記スヘシ處分濟ノ書類ヲ記錄ニ綴込又ハ之ヲ他ニ遞付スルトキハ目錄ノ番號ヲ抹消シ且書類ヲ他ニ遞付スル場合ニ於テハ其遞付先ヲ記スヘシ

第八欄ハ同欄ニ記シタル事務ノ一年間ノ數ヲ容易ニ知リ得ル爲ニ設ケ事件ヲ前手續事件簿ニ登記シタルトキ即チ事實ヲ取調フル爲ノ手續ヲ爲シタルトキハ第八欄「ロ」ノ小欄ヲ用ヒス

書類檢事局ニ在ル間ハ其取扱手續ニ付證明ヲ要セス第九欄ハ檢事局ヨリ他ニ遞付スルトキノミ之ヲ用ユ

第五條　記錄ハ帳簿（即チ事件簿）ニ登記シ且其登記ノ順序ニ從ヒ之ヲ保存ス

帳簿ハ一年一冊ト爲スヲ例トス然レ𪜈事務年度終リタル後前年度ノ分ト合綴スルハ便宜ニ任ス」

一年間帳簿ニ記載シタル結果ハ年末ニ至リ集合シテ事務一覽表ニ掲ケヘシ新タニ調製スル帳簿ニ記錄ヲ移記スルコトハ（此場合ニハ從來ノ記錄號ヲ附スヘシ）第三年ノ初メニ於テ尙ホ未濟ナルトキニ限リ之ヲ爲ス前年ノ帳簿ニ月日ヲ記入スルトキハ其記入ノ年ヲ附記スヘシ

記錄ノ終局遞付ハ記錄帳簿ニ記スヘシ

庶務記錄帳簿第二號

書類差出及其取扱定期簿第三號

第六條　庶務記錄ノ帳簿ハ書式第二號ニ從ヒ之ヲ作ル

庶務記錄帳簿ハ事件ノ種類ニ從ヒ數節ニ分チ之ヲ記ス

庶務記錄トハ司法ノ行政及監督事務ニ屬スル記錄其他特別ノ規程ニ係ル帳簿ニ載スヘカラサル一切ノ記錄ヲ謂フ

第七條　到來書類ハ記錄又ハ關係書類ヲ添附シ檢事命令アルトキ又ハ書記其職務上ノ調査ニ依リ正式ノ送達ナカリシコトヲ見出シタルトキノミ之ヲ差出スヘシ

事務取扱中ノ書類ハ事務取扱上經過ノ程度ニ從ヒ之ヲ區別ス例ヘハ

一事務番號ヲ附スヘキ書類（新事件）

二檢事命令ヲナス爲ニ差出スヘキ書類

三寫字生、執達吏等ニ交付スヘキ書類

四既濟ノ書類

事務取扱中ノ書類ニハ之ニ屬スル記錄又ハ關係書類ヲ添附ス特別ノ原因殊ニ記錄及其附屬書類ノ大部ナル爲ニ分離ヲ要スルトキハ之ヲ合併スルヲ得ルニ至ルマテ各別ニ之ヲ保存ス

書棚幷ニ書類入ノ外ニハ現ニ取扱中ノ事務ニ屬スル記錄及書類ニ限リ之ヲ置クコトヲ得

命令ノ實行

期日及期間ハ書式第三號ニ從ヒ作ルヘキ定期簿ニ書記之ヲ掲クヘシ進行番號ハ登記ヲ爲ス日毎ニ數字ノ一ヲ以テ始ム

記錄ハ檢事ヨリ他ノ命令ナキトキハ期日ヨリ二十四時間前ニ差出スヘシ

記錄ヲ檢事ニ差出シタルトキハ進行番號ヲ抹消シ之ヲ表示スヘシ

第八條　檢事ヨリ起草ヲ命セラレタル文書ハ解シ易キ官用ノ文章ヲ以テ之ヲ記シ其文書ニハ事件ノ標目及事務番號ヲ附記シ且欄外ニ取扱ノ種類（例ヘハ郵便ニ付スル送達、郵便ニ依ル送達、書留郵便、執達吏ニ依ル送達、無手數料送達、送付等）ヲ記シ之ニ從ヒ淨書及謄本ヲ作ル此場合ニ於テ執達吏ハ其受取ルヘキ書類ニ依リ何人ノ委任ニ依リ何人ニ送達スヘキカ又如何ナル手續ニ依リ送達スヘキカ又至急ヲ要スルヤ否ヲ知ルヘキモノトス右ニ付書記ハ書類ニ必要ナル附記ヲ爲スヘシ送達及交付ノ種類ハ略語ヲ以テ記スルコトヲ得

官廳ヘノ回答書ニハ其官廳ノ事務番號ヲ記スヘシ書式ヲ用ユヘキトキ之ヲ命令ニ掲ケサルトキハ書記其書式ヲ記スルコトヲ要ス（例ヘハ書式「二五ニ」ト記シ書式第二十五號ニ從フヘキコトヲ示スノ類ノ如シ）

書記ハ檢事ノ署名スヘキ書面ニ檢印ヲ誤謬ナキコトヲ證スヘシ

書記ハ遲滯ノ恐レアルトキ又ハ費用ヲ節減シ得ヘキトキハ郵便ニ依リ送達ヲ爲サシムヘキモノ

執達吏ノ事務交通

執達委任簿第四號

トス（民事訴訟法第百二十六條第三項第四項刑事訴訟法第十九條）但特ニ執達吏ノ送達ヲ要スベシト思料スルモノハ此限ニ在ラス

送達證書ヲ要セサル送達（法律ノ規程ニ拘ラサル送達）ハ郵便ヲ以テ爲スコトヲ得此場合ニ於テハ廷丁ヲシテ郵送シタルコトヲ證セシムヘシ

裁判所揭示板ニ貼附スヘキ書類ハ揭示簿ヲ掌ル書記ニ交付スヘシ

第九條　書記ト執達吏トノ委任授受ハ可成口頭ニテ之ヲ爲スヘシ

直チニ執行スヘキ委任ハ執達吏ニ送付ス其他ノ委任ハ閉鎖スヘキ書函ニ書類ヲ差入ルヽヲ以テ之ヲ爲ス書函ノ鍵ハ書記執達吏各一箇ヲ持ツモノトス

書函ハ區裁判所書記課ニ設クルモノヲ流用スルコトヲ得

書記ハ委任ニ關スル書類ヲ書函ニ差入ルヽトキ相當ノ區別ヲ爲シ置ク可シ（例ヘハ送達、送付、執行、特別ノ官ノ委任ノ類ノ如シ）

執達吏ハ定マリタル時間ニ檢事局ニ出頭シ且求アリタルトキハ委任ノ取扱ニ付細報ヲ爲シ新委任ニ付遺漏不完全ノコトアルトキハ質問ヲ爲スヘシ

書記ト執達吏トノ委任授受ニ付テハ書面ヲ以テ證スルヲ要セス若シ之ヲ必要トスルトキハ書式第四號ニ從ヒ執達委任簿ヲ作ルヘシ

檢事關係訴訟事件簿第五號

內部事務ノ區域

手控記錄

前手續事件簿第六號

委任授受ニ委任簿ヲ用ユルトキハ委任書類ニ其帳簿ヲ添ヘ書函ニ差入ルヘシ

第二節　民事

第十條　檢事關係訴訟事件ノ帳簿ハ書式第五號ニ從ヒ之ヲ作ル記錄號ヲ用ユ

本條ノ事件ニ付テハ類聚記錄ヲ作ル

第三節　刑事

第十一條　記錄ノ調製及保存刑事ニ於ケル記錄帳簿ノ取扱ハ區裁判所書記規則ニ於テ區裁判所書記ノ主掌ニ屬セサルモノハ檢事局書記之ヲ爲ス

檢事局書記ハ記錄ノ差出ニ付區裁判所判事ノ命令ニ從フヘシ

第十二條　記錄ヲ他官廳ニ送付シ又ハ區裁判所ニ差出ストキ特ニ命セラレタル書類（原本又ハ謄本）ハ之ヲ殘シ置クヘシ此書類ハ記錄ノ返還アルヘキ場合ニ於テハ其記錄ヲ置クヘキ場所ニ之ヲ置キ後日命令ニ從ヒ本記錄ニ附シ又ハ類聚記錄ニ附スヘシ

檢事局ニ付特別ノ手控記錄ヲ作ルトキハ其調製ノ旨ヲ記錄帳簿備考ノ欄ニ畧記スヘシ

第十三條　前手續事件ノ帳簿ハ書式第六號ニ從ヒ之ヲ作ル前手續ニ關スル書類ハ特ニ記錄調製ノ命ナキトキハ類聚記錄ト爲ス

第一　捜査手續

捜査手續ニ付テハ（刑事訴訟法第四十六條乃至第六十一條）第一欄乃至第四欄ヲ用ユ檢事犯罪ア
ルコトヲ認知シ又ハ犯罪アリト思料シ且捜査ノ手續ヲ必要トスルトキハ被告人ノ誰タルコトヲ
知ル能ハサル場合ト雖モ之ヲ本帳簿ニ登記ス被告人ノ氏名ハ知リ得ルニ隨ヒ第二欄ニ記ス
檢事捜査手續ヲ停止シタル後更ニ訴ヲ起ストキハ第四欄ノ記入ヲ抹消シ備考ノ欄ニ其事由ヲ記
スヘシ

第二　前手續結局後ニ係ル手續

捜査手續ヲ爲シ被告事件區裁判所ニ起訴スヘキモノナルトキハ第五欄第六欄ヲ用ユ

第三　前手續ノ終局

檢事捜査手續ヲ停止シタルトキハ（第四欄）ハ第七欄ノ「イ」及「ロ」ニ記シ其記錄ハ帳簿ノ順ヲ以
テ保存スヘシ

公判ヲ開キタルトキハ其記錄ハ公判ノ記錄ノ一部分又ハ附屬書類ト爲ル

第四　捜査ノ手續ナキ公判

檢事別ニ事件ノ捜査ヲ命セスシテ公判ヲ請求シタルトキモ亦其事件ヲ第五欄第六欄ニ記スヘ
シ

第十四條　刑事事件ノ帳簿ハ書式第七號ニ從ヒ之ヲ作ル

第五欄ニ記スヘキ番號ハ各小欄（イ、ロ）ニ付數字ノ一ヲ以テ始ム記錄號ハ其小欄ノ符號文字
ト數字ヲ以テ作ル（例ヘハ二十三年違警罪事件第五十號ナレハ二三(ロ)五〇ト記スルノ類ノ如シ）

被告人一人ニ對シ數罪ノ爲公判ヲ開キタルトキハ尤モ重キ刑ニ該ルヘキ犯罪ノミヲ第五欄ニ記
ス

帳簿ハ判事ノ數ニ應シテ之ヲ作ル

裁判所構成法第十六條ニ從ヒ地方裁判所又ハ其支部ノ檢事局ヨリ移付シタル事件ハ第五欄ノ番
號ノ側ニ畫線シ見出ニ便スヘシ

間稅署又ハ間稅分署ニ於テ通告ヲ爲シタル事件ハ備考ノ欄ノミヲ記ス其記入ニハ記錄號ニ用ユル第五欄ノ符號
所分法第十一條）

第六欄ニハ事件ノ終局シタル裁判所ノ小欄ノ文字ヲ用ユ

控訴裁判所原判決ヲ取消シタルトキハ備考ノ欄ニ之ヲ畧記スヘシ

上告裁判所原判決ヲ破毀シタルトキモ亦備考ノ欄ニ之ヲ畧記シ且上告裁判所其事件ヲ自ラ判決
シ又ハ原裁判所或ハ他ノ裁判所ニ移シタルコトヲ記スヘシ他ノ裁判所ニ移シタル場合ニ於テ事

件ハ帳簿上終局ト看做シ第六欄ノ「ニ」ヲ記ス

輕罪、違警罪ニ付刑ノ言渡確定シタルトキハ刑ノ言渡ヲ受ケタル者ノ氏名、年齢、身分、職業、住所、現在地（住所ナキトキ）出生ノ地、罪名、刑期、犯數刑ノ言渡ヲ爲シタル年月日、及對審、闕席ノ區別ヲ記シタル判決ノ通知書ヲ作リ其住所又ハ現住地ノ地方裁判所檢事局ニ送致スヘシ

第十五條　檢事局ニ宛タル他ノ官廳ノ囑託ニ關スル書類ハ書式第八號共助事件簿ニ記スヘシ

記錄號ハ帳簿ノ進行番號ニ「キシ」ノ文字ヲ加ヘ之ヲ作ル檢事局ニ於テ成立ヲ囑託官廳ニ遞付セサル書類ハ類聚記錄ト爲ス

共助事件終局スルトキハ總テノ關係書類ヲ囑託官廳ニ遞付スルヲ例トス

第十六條　刑事ニ付取扱フ金錢物品受渡ノ爲書式第九號ニ從ヒ一年間ヲ包括スル受渡簿ヲ作ル

物品ノ種類、品質、員數ノ記載ハ最モ明瞭ニシテ紛雜無カラシムヘシ

判決又ハ命令アリタルトキハ書記ハ遲滯ナク所要ノ處分ヲ爲スヘシ

此帳簿ハ每月末ニ檢事ノ檢査ヲ受クヘシ年度內ニ處分ヲ終ヘサルモノハ進行番號ノ側ニ書線シ次年度ノ注意ヲ促シ次年度內尙ホ處分ヲ終ヘサルモノハ之ヲ三年度帳簿ノ初メニ移シ舊帳簿備考ノ欄ニ新帳簿ニ移シタルコトヲ記スヘシ

一事件ニ關スル數多ノ物品ハ仝一ノ進行番號ヲ以テ之ヲ記シ其物品ニハ同番號及記錄號ヲ附ス

共助事件簿　第八號

物品受渡簿　第九號

附則

同

第四節　附則

第十七條　刑事ノ統計表調製ニ付テハ現行ノ規則又ハ後來定ムル所ノ特別ノ規則ニ從フヘシ

第十八條　從前ノ規則ニ從ヒ終局スヘキ事件ニ付テハ帳簿ノ記載其他書記ノ事務ニ付テノ現行ノ規則ニ從フヘシ但本規則第十一條及區裁判所書記規則第二十八條ニ揭ケタル裁判所書記及檢事局書記ノ事務區域ニ關スル規程ハ之ヲ斟酌シテ適用スヘキモノトス若シ事務區域ニ付疑アルトキハ控訴院長及檢事長之ヲ協議規定スヘキモノトス

書式（用紙美濃紙）

（書式中各欄内假設記入文字及欄外附記文字幷ニ書式ノ末尾ニ記入方ヲ記シタルモノニシテ原本中朱ナルモノハ「」及……點ヲ附ス）

書式目錄

番號	規則ノ條箇	名稱	符號文字
一	四	日記	
二	六	庶務記錄帳簿	
三	七	定期簿	
四	九	達執委任簿	
五	一〇	檢事關係訴訟事件簿	い
六	一三	前手續事件簿	ろ
七	一四	刑事事件簿	は に
八	一五	共助事件簿	キ シ

九	一六	物品受渡簿	